

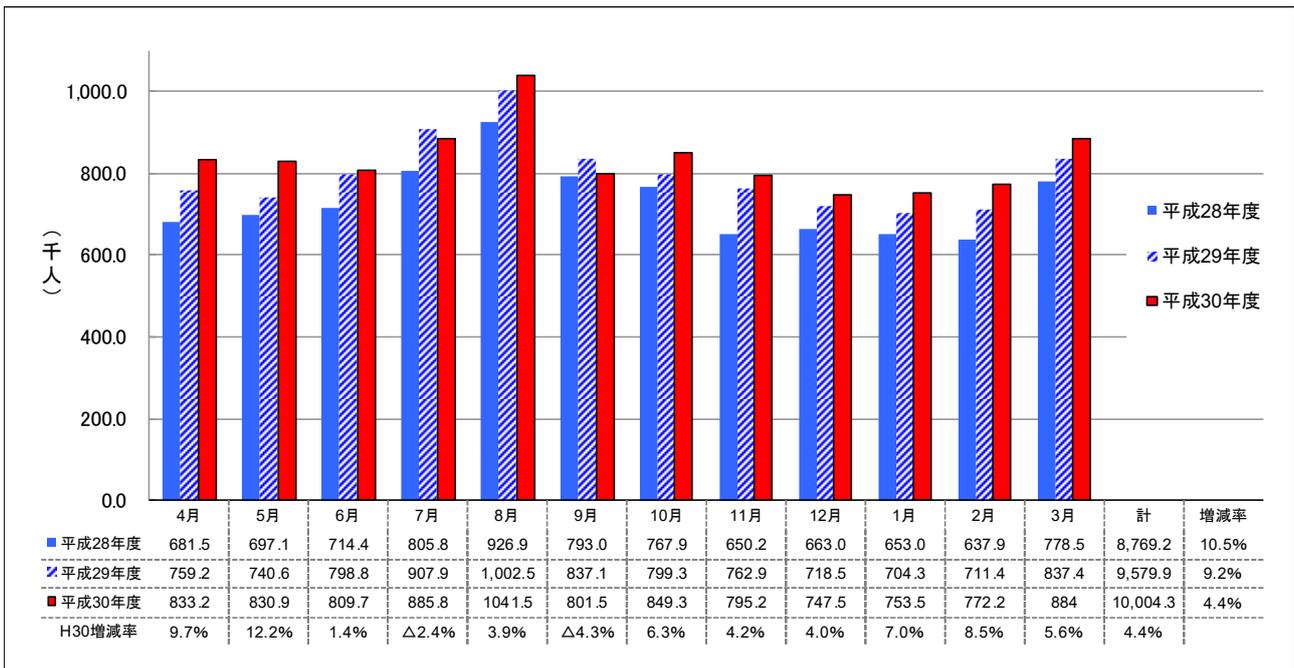
平成 30 年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 31 年 4 月発表
(令和元年 11 月修正)

平成 30 年度の観光客数は、1,000 万 4,300 人で過去最高

対前年度 (H29) 比 +42 万 4,400 人、+4.4%

■月別入域観光客数の推移 (平成 28 年度～平成 30 年度)



■平成 30 年度の概況 (総括)

平成 30 年度の入域観光客数は 1,000 万 4,300 人で、前年度比で 42 万 4,400 人、率にして 4.4% の増加となった。度重なる自然災害や麻しん発生の影響があったものの、年度目標の 1,000 万人を記録し、6 年連続で過去最高を更新した。

前年度と比べて増加した要因は次の通りと考えられる。

- 行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと
- 離島直行便など国内航空路線の拡充による国内客の増加
- 海外航空路線の拡充・クルーズ船寄港回数の増による外国客の増加

■平成 31 年度の見通し

景気は緩やかな回復基調にあることや、下地島空港旅客ターミナル施設の供用開始により、成田-下地島 (宮古) に引き続き、関西-下地島 (宮古) の新規就航が予定されているほか、那覇空港国内線・国際線ターミナルの連結に伴う LCC 施設の移転によりさらなる利便性向上がなされること等により、国内旅行市場は好調に推移するとみられる。

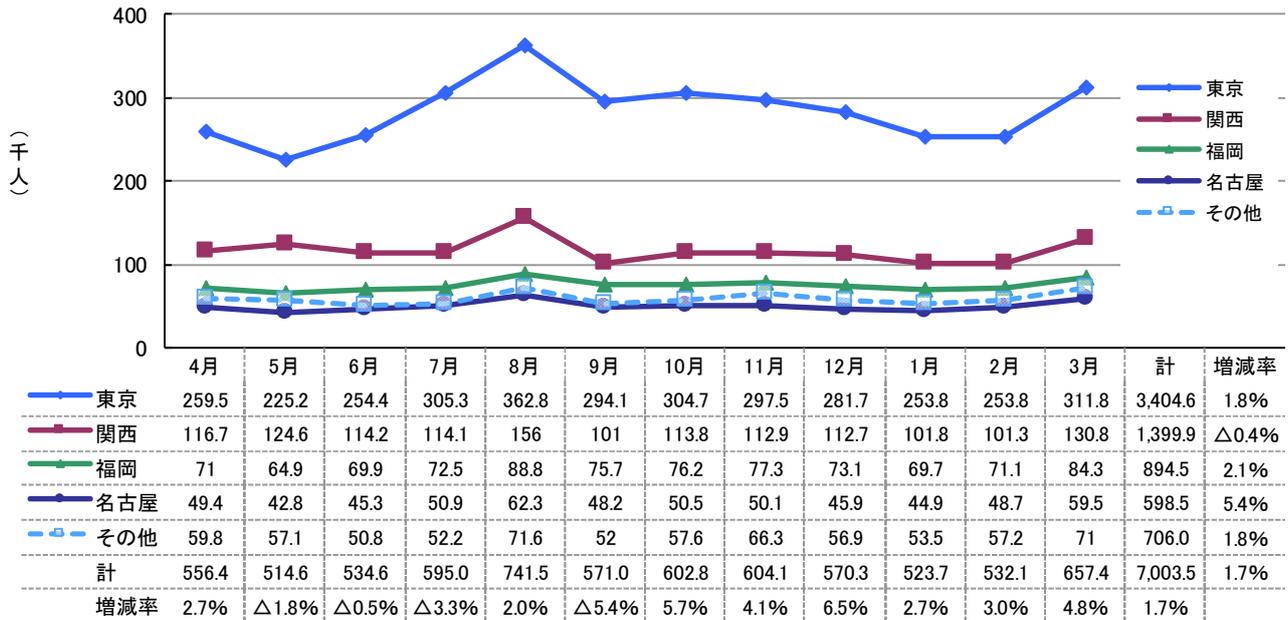
また、外国客については、香港-下地島 (宮古) の新規就航予定や、香港-那覇間において LCC による運航再開予定があり、空路客の入込増加が期待されるほか、クルーズ船の寄港についても増加する予定となっていること等から、好調に推移するものと見込まれる。

国内観光客の動向

■入域観光客数（国内）

平成 30 年度の国内客は、対前年度比で 11 万 5,600 人、率にして 1.7%の増の 700 万 3,500 人となり、6 年連続で過去最高を更新した。これまでの年度における国内客の過去最高の入込は、平成 29 年度の 688 万 7,900 人。

■平成 30 年度国内観光客の状況（方面別の月別推移）



■国内観光客の概況

平成 30 年度は度重なる自然災害や麻しん発生の影響があったものの、景気回復基調が継続したことで全体として国内旅行需要は好調に推移した。おきなわ技能五輪・アビリンピックの開催があったことや、成田－石垣路線の新規就航等の航空路線の拡充があったこと等から、前年度を上回った。

【方面別の動向】

東京方面 成田－石垣路線の新規就航に加えて、羽田－那覇路線の増便等の航空路線の拡充があったこと等から、前年度を上回った。

関西方面 関西国際空港の一時閉鎖など台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年度を下回った。

福岡方面 福岡から宮古・石垣への直行便および北九州－那覇路線の増便等の航空路線の拡充があったこと等から、前年度を上回った。

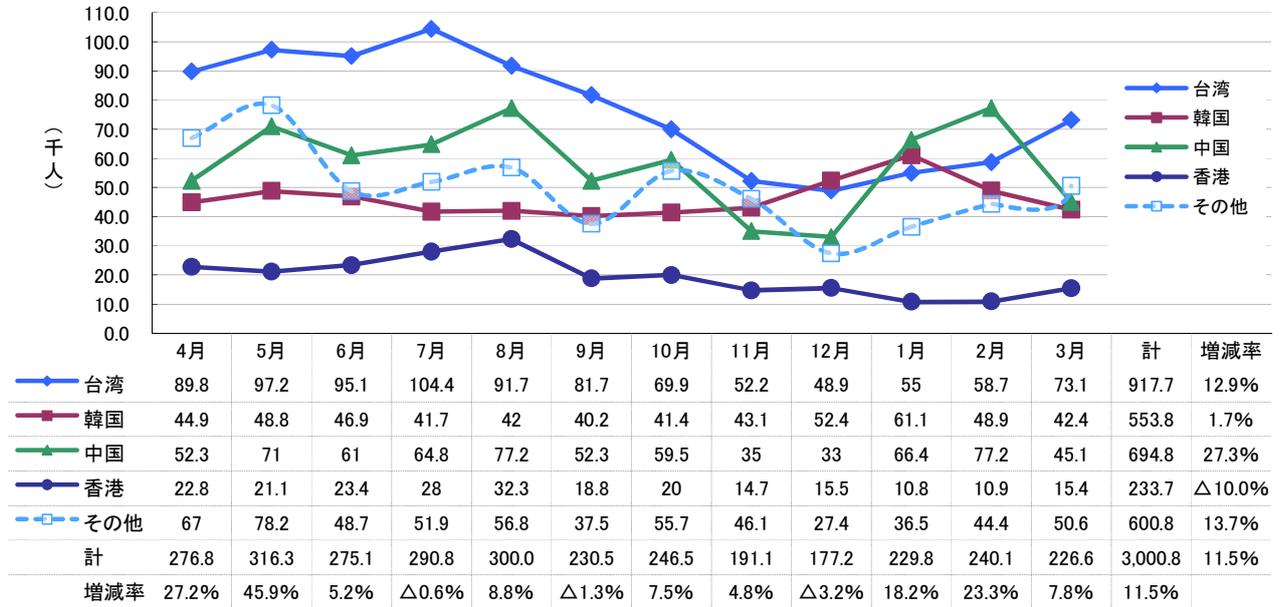
名古屋方面 名古屋から宮古への直行便および名古屋－那覇路線の増便等の航空路線の拡充があったこと等から、前年度を上回った。

外国人観光客の動向

■入域観光客数（外国）

平成 30 年度の外国客は、対前年度比で 30 万 8,800 人、率にして 11.5%の増の 300 万 800 人となり、11 年連続で過去最高を更新し、初の 300 万人台となった。これまでの年度における外国客の過去最高の入込は、平成 29 年度の 269 万 2,000 人。

■平成 30 年度外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



■外国人観光客の概況

平成 30 年度は、麻しん発生や台風の影響があったものの、昨年度から引き続き、訪日旅行人気が続いていることに加え、沖縄発着航空路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が増加した。

また、クルーズ船寄港回数が増加したことにより、海路客が増加した。

【市場別の動向】

台湾

ピーチアビエーションによる高雄－那覇路線の新規就航などの航空路線の拡充に加え、クルーズ船の寄港回数も昨年並みを推移したこと等により、空路・海路客ともに増加し、過去最高であった昨年度を上回り、初の 90 万人台となった。

韓国

エアソウルによる仁川－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充により、空路客を中心に増加、過去最高であった昨年度を上回り、引き続き 50 万人台となった。

中国本土

航空路線は昨年並みを推移したものの、中国発クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加、初の 60 万人台となった。

香港

麻しん発生や台風の影響により、空路・海路客ともに減少し、過去最高であった昨年度を下回り、過去 2 番目の観光客数となった。

その他

ピーチアビエーションによるバンコク－那覇路線や、ジェットスター・アジア航空によるシンガポール－那覇路線など東南アジア方面での提供座席数の増加があった。

平成30年（2018）4月 入域観光客数概況

4月の観光客数は、83万3,200人
対前年（H29）同月比 +7万4,000人、+9.7%
～4月の過去最高更新、各月の過去最高を54ヶ月連続更新～

入域状況

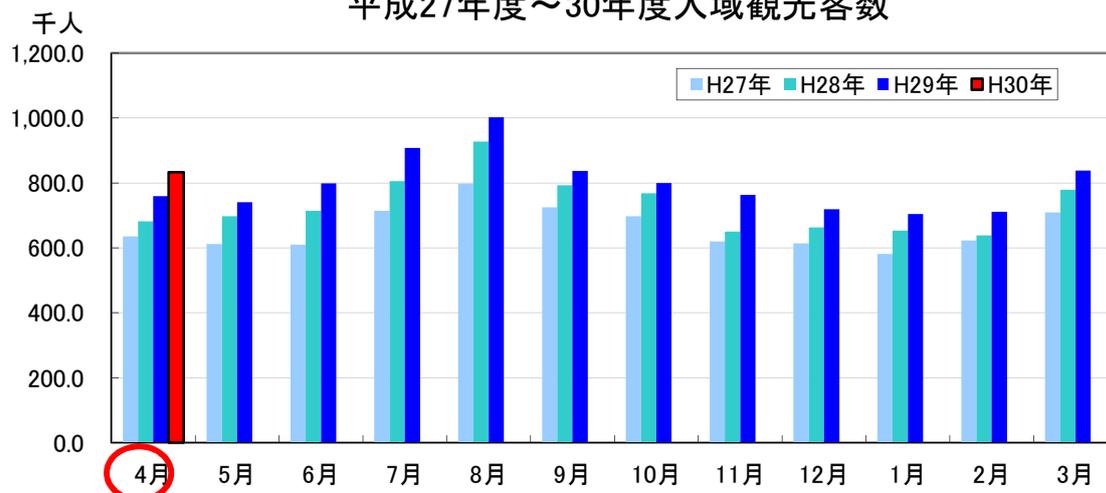
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	556,400 人	541,600 人	+ 14,800人	+ 2.7%	66.8%
外国客	276,800 人	217,600 人	+ 59,200人	+ 27.2%	33.2%
合計	833,200 人	759,200 人	+ 74,000人	+ 9.7%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	556,400 人	541,600 人	+ 14,800人	+ 2.7%	70.2%
外国客	236,400 人	190,800 人	+ 45,600人	+ 23.9%	29.8%
合計	792,800 人	732,400 人	+ 60,400人	+ 8.2%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

4月は、春休みやゴールデンウィークの旅行需要があり、県内での大型イベントの複数開催等から前年を上回った。

5月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、各航空会社の予約状況が安定していることや夏季運航期間において航空路線の拡充による提供座席数の増加が見込まれることから、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

4月は、航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加したこと等から前年を上回った。

5月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、夏季運行期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	259,500 人	251,300 人	+ 8,200人	+ 3.3%	46.6%
関西方面	116,700 人	115,200 人	+ 1,500人	+ 1.3%	21.0%
福岡方面	71,000 人	68,000 人	+ 3,000人	+ 4.4%	12.8%
名古屋	49,400 人	46,700 人	+ 2,700人	+ 5.8%	8.9%
その他	59,800 人	60,400 人	△ 600人	△ 1.0%	10.7%
合計	556,400 人	541,600 人	+ 14,800人	+ 2.7%	100.0%

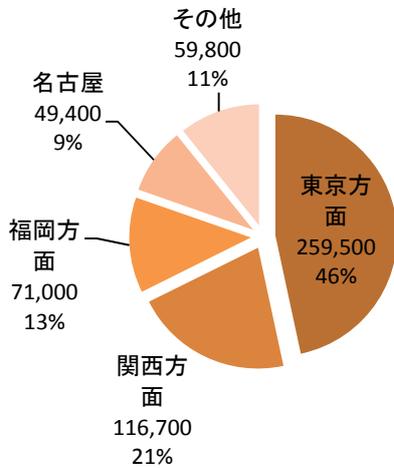
※国内海路客2,100人を含む(鹿児島1,700人、横浜300人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

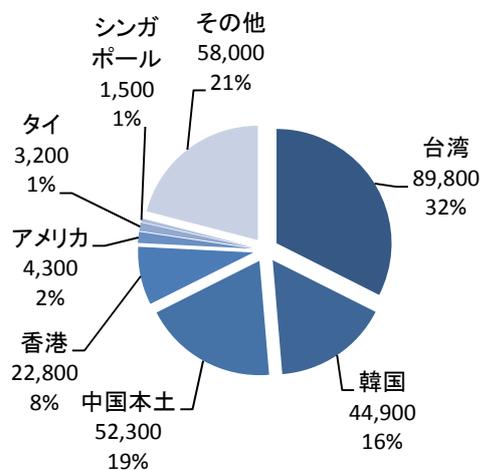
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	89,800 人	89,800 人	64,200 人	+ 25,600人	+39.9%	32.4%
韓国	44,900 人	44,900 人	42,100 人	+ 2,800人	+6.7%	16.2%
中国本土	52,300 人	52,300 人	37,600 人	+ 14,700人	+39.1%	18.9%
香港	22,800 人	22,800 人	25,500 人	△ 2,700人	△10.6%	8.2%
アメリカ	4,300 人	4,300 人	3,400 人	+ 900人	+26.5%	1.6%
タイ	3,200 人	3,200 人	3,300 人	△ 100人	△3.0%	1.2%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	800 人	+ 700人	+87.5%	0.5%
その他	58,000 人	17,600 人	40,700 人	+ 17,300人	+42.5%	21.0%
合計	276,800 人	236,400 人	217,600 人	+ 59,200人	+27.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	56,500 人	56,500 人	+18.7%	37.2%	33,300 人	33,300 人	+100.6%	26.7%
韓国	44,800 人	44,800 人	+6.4%	29.5%	100 人	100 人	皆増	0.1%
中国本土	20,400 人	20,400 人	+3.0%	13.4%	31,900 人	31,900 人	+79.2%	25.6%
香港	18,800 人	18,800 人	△14.2%	12.4%	4,000 人	4,000 人	+11.1%	3.2%
アメリカ	1,900 人	1,900 人	△13.6%	1.3%	2,400 人	2,400 人	+100.0%	1.9%
タイ	3,100 人	3,100 人	△3.1%	2.0%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	+250.0%	0.9%	100 人	100 人	△75.0%	0.1%
その他	5,100 人	5,100 人	△3.8%	3.4%	52,900 人	12,500 人	+49.4%	42.4%
合計	152,000 人	152,000 人	+6.7%	100.0%	124,800 人	84,400 人	+66.2%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

4月は、春休みや、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の先行割引航空券が良好なこと等から、前年を上回った。

5月は、一部旅行会社ではゴールデンウィーク明けから6月にかけて追加の対策商品（WEB等）の造成による旅行需要の喚起が期待されることや、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることもあり、堅調に推移する見込み。

大阪

4月は、航空会社の先行割引航空券などの販売実績や一般団体旅行の受注が良好であったこと等から、前年を上回った。

5月は、一般団体旅行や教育旅行の先行受注が安定していることや航空会社の先行割引航空券の販売が安定していることもあり、好調に推移する見込み。

福岡

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の先行割引航空券が良好なこと等から、前年を上回った。

5月は、離島直行便プロモーションによる需要喚起が期待されることや、航空会社の先行割引航空券の販売が安定していることもあり、堅調に推移する見込み。

名古屋

4月は、旅行会社の宮古島商品の販売実績が良好であったことや、離島直行便を利用した団体旅行が増加したこと等から前年を上回った。

5月は、ジェットスターがゴールデンウィーク及び5月週末に増便することや、旅行会社の宮古島商品の販売が引き続き良好なこと等もあり、堅調に推移する見込み。

台湾

4月は、航空会社による増便や、高雄－那覇路線の初就航や琉球海炎祭による旅行需要の高まり等から前年を上回った。

5月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

4月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、航空路線の拡充等により、前年を上回った。

5月は、近距離旅行の需要の高まりに加え、チャーター便の運航が予定されていること等から、空路を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

4月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、大型クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

5月は、労働節連休による旅行需要の高まりや、クルーズ船の本格的なシーズンになること等から、好調に推移する見込み。

香港

4月は、個人手配旅行が良好であったものの、お花見旅行商品等の多方面との競合や麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響により一部キャンセルが発生したこと等から前年を下回った。

5月は、前年同月に比べて夏季スケジュールの航空路線の拡充が予定されているほか、大型クルーズ船の寄港が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

平成30年（2018）5月 入域観光客数概況

5月の観光客数は、83万900人
対前年（H29）同月比 +9万300人、+12.2%
～5月の過去最高更新、各月の過去最高を55ヶ月連続更新～

入域状況

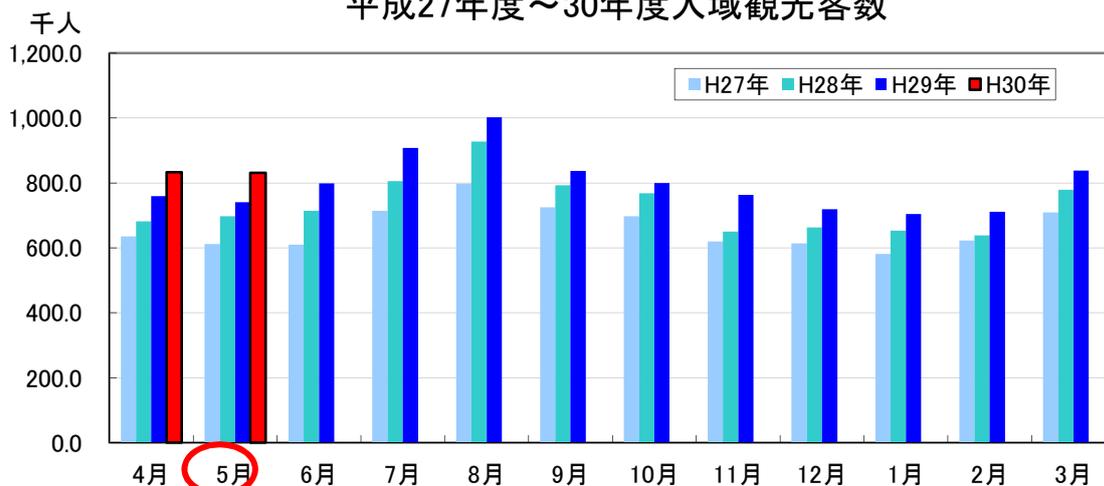
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	514,600 人	523,800 人	△ 9,200人	△ 1.8%	61.9%
外国客	316,300 人	216,800 人	+ 99,500人	+ 45.9%	38.1%
合計	830,900 人	740,600 人	+ 90,300人	+ 12.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	514,600 人	523,800 人	△ 9,200人	△ 1.8%	66.1%
外国客	264,200 人	192,000 人	+ 72,200人	+ 37.6%	33.9%
合計	778,800 人	715,800 人	+ 63,000人	+ 8.8%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

5月は、離島直行便の実績が良好であったものの、ゴールデンウィークの休日数の減少や麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響等により前年を下回った。

6月は、ANA福岡－宮古直行便の運航再開による航空路線の拡充があることや、各航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

5月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されたものの、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加したこと等から前年を上回った。

6月は、端午節連休による旅行需要の高まりに加え、引き続き前年同月に比べて航空路線の拡充があることや、大型クルーズ船の寄港が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	225,200 人	230,900 人	△ 5,700人	△ 2.5%	43.8%
関西方面	124,600 人	121,200 人	+ 3,400人	+ 2.8%	24.2%
福岡方面	64,900 人	66,400 人	△ 1,500人	△ 2.3%	12.6%
名古屋	42,800 人	43,600 人	△ 800人	△ 1.8%	8.3%
その他	57,100 人	61,700 人	△ 4,600人	△ 7.5%	11.1%
合計	514,600 人	523,800 人	△ 9,200人	△ 1.8%	100.0%

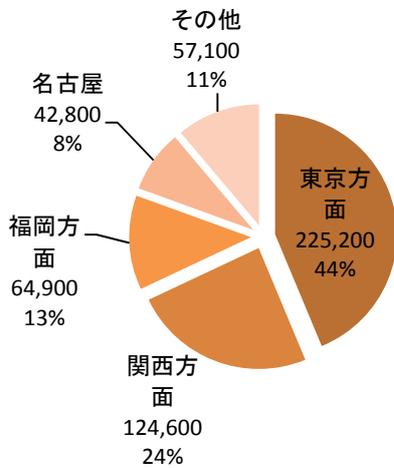
※国内海路客9,400人を含む(鹿児島2,400人、横浜2,700人、神戸4,200人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

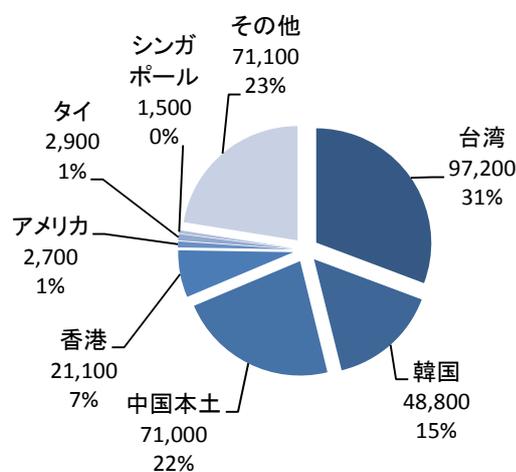
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	97,200 人	97,200 人	68,900 人	+ 28,300人	+41.1%	30.7%
韓国	48,800 人	48,800 人	41,600 人	+ 7,200人	+17.3%	15.4%
中国本土	71,000 人	71,000 人	45,900 人	+ 25,100人	+54.7%	22.4%
香港	21,100 人	21,100 人	24,000 人	△ 2,900人	△12.1%	6.7%
アメリカ	2,700 人	2,700 人	2,000 人	+ 700人	+35.0%	0.9%
タイ	2,900 人	2,900 人	2,100 人	+ 800人	+38.1%	0.9%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	800 人	+ 700人	+87.5%	0.5%
その他	71,100 人	19,000 人	31,500 人	+ 39,600人	+125.7%	22.5%
合計	316,300 人	264,200 人	216,800 人	+ 99,500人	+45.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	59,700 人	59,700 人	+15.9%	38.6%	37,500 人	37,500 人	+115.5%	23.2%
韓国	45,900 人	45,900 人	+11.1%	29.7%	2,900 人	2,900 人	+866.7%	1.8%
中国本土	21,600 人	21,600 人	△3.1%	14.0%	49,400 人	49,400 人	+109.3%	30.6%
香港	16,700 人	16,700 人	△20.9%	10.8%	4,400 人	4,400 人	+51.7%	2.7%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	+0.0%	1.2%	900 人	900 人	+350.0%	0.6%
タイ	2,800 人	2,800 人	+40.0%	1.8%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
シンガポール	1,300 人	1,300 人	+85.7%	0.8%	200 人	200 人	+100.0%	0.1%
その他	5,000 人	5,000 人	+8.7%	3.2%	66,100 人	14,000 人	+145.7%	40.9%
合計	154,800 人	154,800 人	+6.5%	100.0%	161,500 人	109,400 人	+125.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

5月は、航空会社の先行割引航空券等の販売は安定していたものの、ゴールデンウィークの休日減による影響等から、前年を下回った。

6月は、旅行会社の夏季シーズンの商品販売強化の取組があることや、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

5月は、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引航空券などの販売が良好であったこと等から、前年を上回った。

6月は、一般団体旅行や教育旅行の受注が安定していることや航空会社の先行割引航空券の販売が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

5月は、離島直行便プロモーションによる旅行需要の喚起があったものの、旅行商品の販売が苦戦したこと等から、前年を下回った。

6月は、航空会社の先行割引航空券の販売が安定していることや、「福岡ー宮古」直行便の運航が再開されていること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

5月は、離島商品の販売実績が良好であったものの、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響等により個人旅行商品の受注が鈍化したこと等から前年を下回った。

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であることや、旅行会社の追加対策商品の造成による旅行需要の喚起が期待されること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

5月は、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響が懸念されたものの、前年同月と比べ航空路線が拡充したことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回った。

6月は、大型クルーズ船の寄港が予定されていることや、前年同月より航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

韓国

5月は、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響が懸念されたものの、那覇へのチャーター便の運航やクルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、前年を上回った。

6月は、近距離旅行の需要の高まりに加え、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

5月は、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響が懸念されたものの、個人旅行が良好なことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

6月は、端午節連休による旅行需要の高まりや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

5月は、大型クルーズ船の寄港があったものの、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響等から前年を下回った。

6月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があるほか、大型クルーズ船の寄港が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

平成30年（2018）6月 入域観光客数概況

6月の観光客数は、80万9,700人
対前年（H29）同月比 +1万900人、+1.4%
～6月の過去最高更新、各月の過去最高を56ヶ月連続更新～

入域状況

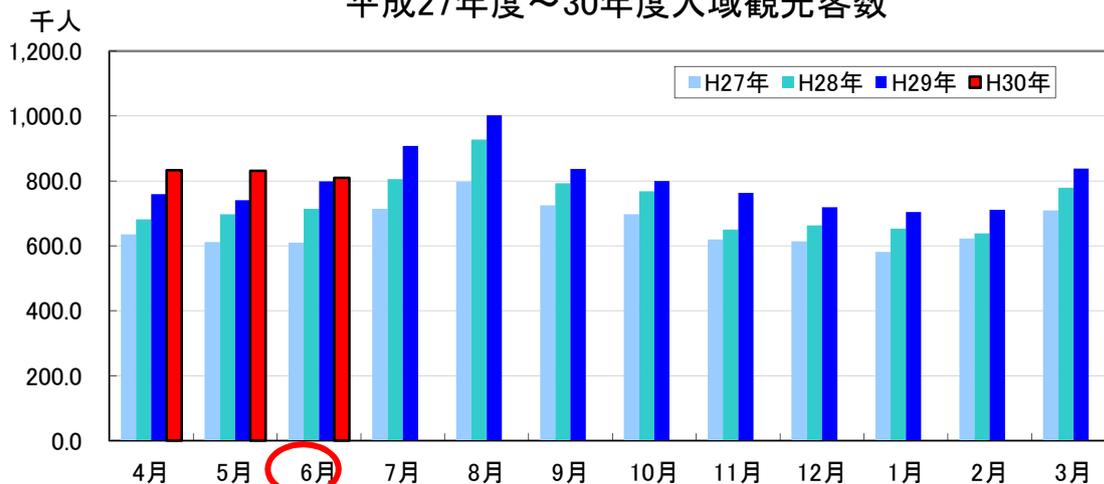
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	534,600 人	537,300 人	△ 2,700人	△ 0.5%	66.0%
外国客	275,100 人	261,500 人	+ 13,600人	+ 5.2%	34.0%
合計	809,700 人	798,800 人	+ 10,900人	+ 1.4%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	534,600 人	537,300 人	△ 2,700人	△ 0.5%	68.8%
外国客	242,600 人	225,200 人	+ 17,400人	+ 7.7%	31.2%
合計	777,200 人	762,500 人	+ 14,700人	+ 1.9%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったものの、大阪府北部地震の影響等から、前年を下回った。

7月は、大阪府北部地震や西日本地区の豪雨の影響による旅行需要の低下や台風の影響が懸念されるものの、前年同月と比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

6月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや端午節休暇があったこと等から前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、本格的な夏休みシーズンによる個人旅行や団体旅行の旅行需要の高まりに加え、航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	254,400 人	251,600 人	+ 2,800人	+ 1.1%	47.6%
関西方面	114,200 人	118,600 人	△ 4,400人	△ 3.7%	21.4%
福岡方面	69,900 人	69,600 人	+ 300人	+ 0.4%	13.1%
名古屋	45,300 人	45,600 人	△ 300人	△ 0.7%	8.5%
その他	50,800 人	51,900 人	△ 1,100人	△ 2.1%	9.5%
合計	534,600 人	537,300 人	△ 2,700人	△ 0.5%	100.0%

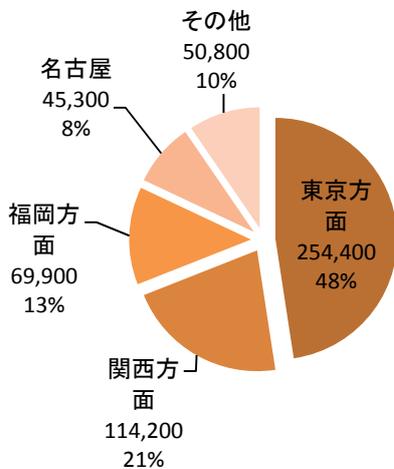
※国内海路客3,400人を含む(鹿児島1,500人、神戸1,900人)

外国客 国籍別入域状況

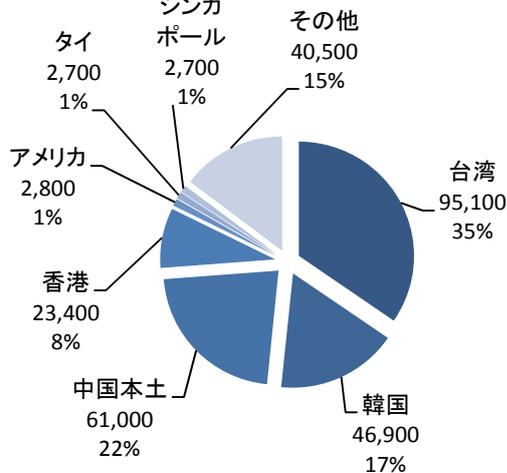
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	95,100 人	95,100 人	94,400 人	+ 700人	+0.7%	34.6%
韓国	46,900 人	46,900 人	42,900 人	+ 4,000人	+9.3%	17.0%
中国本土	61,000 人	61,000 人	42,500 人	+ 18,500人	+43.5%	22.2%
香港	23,400 人	23,400 人	25,600 人	△ 2,200人	△8.6%	8.5%
アメリカ	2,800 人	2,800 人	2,400 人	+ 400人	+16.7%	1.0%
タイ	2,700 人	2,700 人	1,600 人	+ 1,100人	+68.8%	1.0%
シンガポール	2,700 人	2,700 人	2,000 人	+ 700人	+35.0%	1.0%
その他	40,500 人	8,000 人	50,100 人	△ 9,600人	△19.2%	14.7%
合計	275,100 人	242,600 人	261,500 人	+ 13,600人	+5.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	64,700 人	64,700 人	+15.7%	38.4%	30,400 人	30,400 人	△21.0%	28.5%
韓国	46,800 人	46,800 人	+9.6%	27.8%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
中国本土	24,900 人	24,900 人	+6.4%	14.8%	36,100 人	36,100 人	+89.0%	33.9%
香港	20,500 人	20,500 人	△6.8%	12.2%	2,900 人	2,900 人	△19.4%	2.7%
アメリカ	2,300 人	2,300 人	+4.5%	1.4%	500 人	500 人	+150.0%	0.5%
タイ	2,600 人	2,600 人	+73.3%	1.5%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
シンガポール	2,400 人	2,400 人	+60.0%	1.4%	300 人	300 人	△40.0%	0.3%
その他	4,400 人	4,400 人	△6.4%	2.6%	36,100 人	3,600 人	△20.5%	33.9%
合計	168,600 人	168,600 人	+9.6%	100.0%	106,500 人	74,000 人	△1.0%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたことや、旅行会社の夏季シーズンの商品販売強化の取組があったこと等から、前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

6月は、航空会社の先行割引航空券等の販売が良好であったものの、大阪府北部地震の影響やクルーズ船の寄港が前年同月に比べ減少したこと等から、前年を下回った。

7月は、大阪府北部地震や西日本地区の豪雨の影響による旅行需要の低下や台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券等の販売が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

6月は、航空会社の先行割引航空券の販売が安定していたことや、ANA福岡ー宮古直行便の運航が再開されたこと等から、前年を上回った。

7月は、西日本地区の豪雨の影響による旅行需要の低下や台風の影響が懸念されるものの、スターフライヤーの北九州ー那覇路線(1日2往復)の再開があることや、航空会社の離島直行便が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったものの、パンフレット系旅行商品の販売が苦戦したこと等から前年を下回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

6月は、前年同月と比べ航空路線が拡充したことや端午節休暇があったこと等から前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

韓国

6月は、前年同月と比べ航空路線の拡充があったことや顕忠日や統一地方選挙による休暇があったこと等から、前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、近距離旅行の需要の高まりに加え、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることから、好調に推移する見込み。

中国本土

6月は、夏休み前の旅行商品の販売が良好なことに加え、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、本格的な夏休みシーズンに入り、個人旅行、団体旅行が増える見込みであること等から、堅調に推移する見込み。

香港

6月は、大型クルーズ船の寄港があったものの、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響等から前年を下回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

平成30年（2018）7月 入域観光客数概況

平成31年8月発表
(令和元年11月修正)

7月の観光客数は、88万5,800人
対前年(H29)同月比 -2万2,100人、-2.4%
～7月における過去2番目の入域観光客数～

入域状況

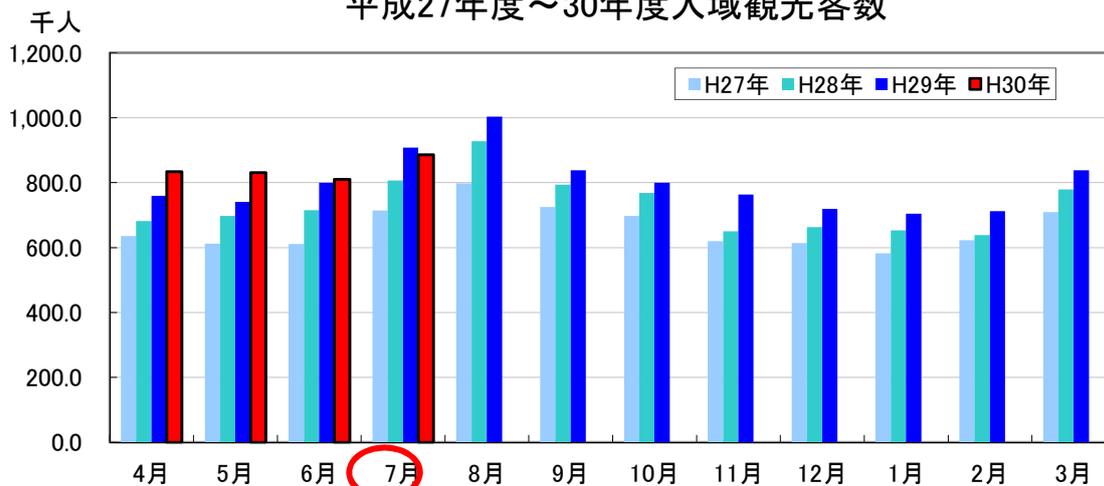
入域観光客数(平成29年度との比較) ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	595,000 人	615,200 人	△ 20,200人	△ 3.3%	67.2%
外国客	290,800 人	292,700 人	△ 1,900人	△ 0.6%	32.8%
合計	885,800 人	907,900 人	△ 22,100人	△ 2.4%	100.0%

【参考】入域観光客数(平成29年度との比較) ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	595,000 人	615,200 人	△ 20,200人	△ 3.3%	70.1%
外国客	254,000 人	252,600 人	+ 1,400人	+ 0.6%	29.9%
合計	849,000 人	867,800 人	△ 18,800人	△ 2.2%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったものの、台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年を下回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、旅行会社の夏休み商品の追加投入やキャンペーンの強化の取組みがあること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

7月は、台風の影響から航空路線の欠航や、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、本格的な夏休みシーズンによる個人旅行や団体旅行の旅行需要の高まりに加え、前年同月より航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	305,300 人	312,600 人	△ 7,300人	△ 2.3%	51.3%
関西方面	114,100 人	118,600 人	△ 4,500人	△ 3.8%	19.2%
福岡方面	72,500 人	76,900 人	△ 4,400人	△ 5.7%	12.2%
名古屋	50,900 人	50,800 人	+ 100人	+ 0.2%	8.6%
その他	52,200 人	56,300 人	△ 4,100人	△ 7.3%	8.8%
合計	595,000 人	615,200 人	△ 20,200人	△ 3.3%	100.0%

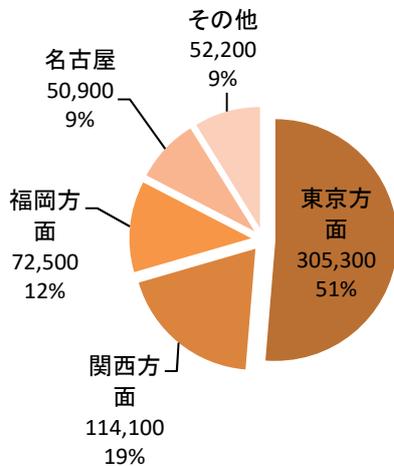
※国内海路客4,300人を含む(鹿児島1,900人、大分600人、横浜1,800)

外国客 国籍別入域状況

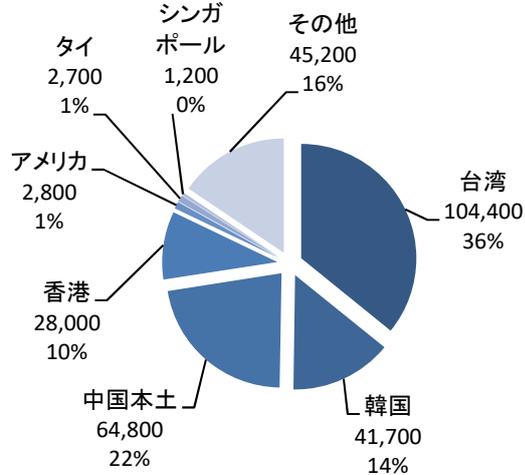
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	104,400 人	104,400 人	92,400 人	+ 12,000人	+13.0%	35.9%
韓国	41,700 人	41,700 人	44,300 人	△ 2,600人	△5.9%	14.3%
中国本土	64,800 人	64,800 人	69,500 人	△ 4,700人	△6.8%	22.3%
香港	28,000 人	28,000 人	30,700 人	△ 2,700人	△8.8%	9.6%
アメリカ	2,800 人	2,800 人	2,700 人	+ 100人	+3.7%	1.0%
タイ	2,700 人	2,700 人	2,100 人	+ 600人	+28.6%	0.9%
シンガポール	1,200 人	1,200 人	400 人	+ 800人	+200.0%	0.4%
その他	45,200 人	8,400 人	50,600 人	△ 5,400人	△10.7%	15.5%
合計	290,800 人	254,000 人	292,700 人	△ 1,900人	△0.6%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	64,900 人	64,900 人	+15.3%	39.1%	39,500 人	39,500 人	+9.4%	31.7%
韓国	41,600 人	41,600 人	△5.9%	25.0%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
中国本土	25,700 人	25,700 人	△2.3%	15.5%	39,100 人	39,100 人	△9.5%	31.4%
香港	22,000 人	22,000 人	△9.1%	13.2%	6,000 人	6,000 人	△7.7%	4.8%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	+5.0%	1.3%	700 人	700 人	+0.0%	0.6%
タイ	2,600 人	2,600 人	+30.0%	1.6%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
シンガポール	1,100 人	1,100 人	+450.0%	0.7%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
その他	6,100 人	6,100 人	+0.0%	3.7%	39,100 人	2,300 人	△12.1%	31.4%
合計	166,100 人	166,100 人	+3.0%	100.0%	124,700 人	87,900 人	△5.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたものの、台風の影響による航空路線の欠航やツアーキャンセルの発生等から、前年を下回った。

8月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが安定していることや、航空路線でお盆期間に臨時便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

7月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったものの、台風の影響による航空路線の欠航やツアーキャンセルの発生等から、前年を下回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の離島直行便が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

7月は、航空会社の先行割引航空券の販売が安定していたものの、台風の影響による航空路線の欠航やツアーキャンセルの発生等から、前年を下回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の離島直行便が良好であることや、旅行会社の新商品投入の取組みがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

7月は、台風の影響があったものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったこと等から前年を上回った。

8月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であることやパンフレット系旅行会社商品の販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

台湾

7月は、台風による航空路線の欠航が発生したものの、前年同月と比べ航空路線が拡充したことやクルーズ船の大型化により海路客が増加したこと等から前年を上回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充があることやクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

7月は、本格的な夏シーズンに入り、家族旅行などの個別旅行が好調であったものの、台風の影響により航空路線の欠航が発生したこと等から、前年を下回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、イースター航空のソウル-那覇路線の増便があること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土

7月は、台風の影響による航空路線の欠航や、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、夏休みシーズンの本格化により旅行需要の増加が見込まれることや、航空会社の予約状況が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

香港

7月は、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響が長引いたことや、台風の影響による航空路線の欠航が発生したこと等から前年を下回った。

8月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月に比べクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、堅調に推移する見込み。

平成30年（2018）8月 入域観光客数概況

平成31年9月発表
(令和元年11月修正)

8月の観光客数は、104万1,500人
対前年（H29）同月比 +3万9,000人、+3.9%
～前年に引き続き100万人台を記録。単月の過去最高を更新～

入域状況

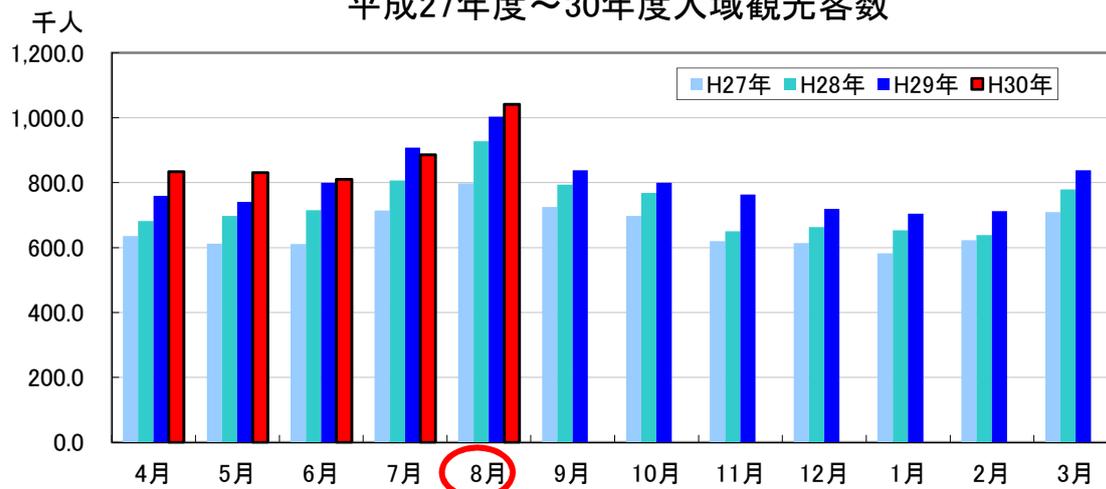
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	741,500 人	726,800 人	+ 14,700人	+ 2.0%	71.2%
外国客	300,000 人	275,700 人	+ 24,300人	+ 8.8%	28.8%
合計	1,041,500 人	1,002,500 人	+ 39,000人	+ 3.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	741,500 人	726,800 人	+ 14,700人	+ 2.0%	74.0%
外国客	261,200 人	238,700 人	+ 22,500人	+ 9.4%	26.0%
合計	1,002,700 人	965,500 人	+ 37,200人	+ 3.9%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

8月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったこと等から、前年を上回った。

9月は、関西国際空港の一時閉鎖や北海道胆振東部地震の影響が懸念されるものの、敬老の日と秋分の日との連休や大型音楽イベントの開催があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

8月は、台風の影響が懸念されたものの、夏休みシーズンによる旅行需要の高まりに加え、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

9月は、秋夕連休や中秋節があることや、前年同月より航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	362,800 人	359,200 人	+ 3,600人	+ 1.0%	48.9%
関西方面	156,000 人	153,100 人	+ 2,900人	+ 1.9%	21.0%
福岡方面	88,800 人	88,400 人	+ 400人	+ 0.5%	12.0%
名古屋	62,300 人	58,300 人	+ 4,000人	+ 6.9%	8.4%
その他	71,600 人	67,800 人	+ 3,800人	+ 5.6%	9.7%
合計	741,500 人	726,800 人	+ 14,700人	+ 2.0%	100.0%

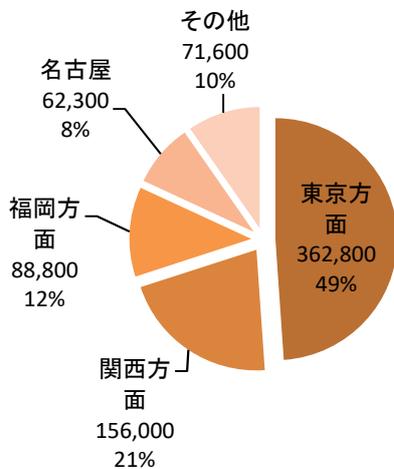
※国内海路客7,100人を含む(鹿児島3,300人、横浜3,800)

外国客 国籍別入域状況

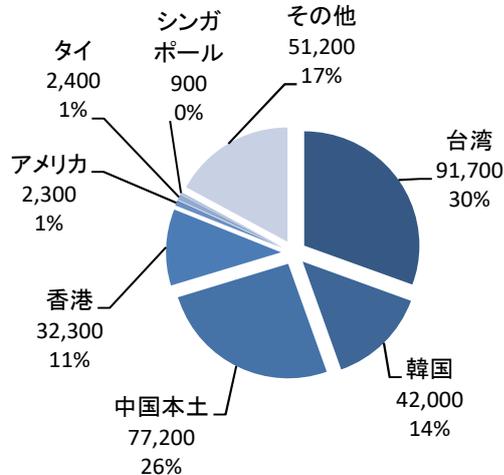
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	91,700 人	91,700 人	89,300 人	+ 2,400人	+2.7%	30.6%
韓国	42,000 人	42,000 人	43,400 人	△ 1,400人	△3.2%	14.0%
中国本土	77,200 人	77,200 人	65,900 人	+ 11,300人	+17.1%	25.7%
香港	32,300 人	32,300 人	27,500 人	+ 4,800人	+17.5%	10.8%
アメリカ	2,300 人	2,300 人	1,900 人	+ 400人	+21.1%	0.8%
タイ	2,400 人	2,400 人	1,900 人	+ 500人	+26.3%	0.8%
シンガポール	900 人	900 人	400 人	+ 500人	+125.0%	0.3%
その他	51,200 人	12,400 人	45,400 人	+ 5,800人	+12.8%	17.1%
合計	300,000 人	261,200 人	275,700 人	+ 24,300人	+8.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	64,700 人	64,700 人	+17.9%	39.0%	27,000 人	27,000 人	△21.5%	20.1%
韓国	41,900 人	41,900 人	△3.2%	25.3%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
中国本土	26,100 人	26,100 人	△2.2%	15.7%	51,100 人	51,100 人	+30.4%	38.1%
香港	24,000 人	24,000 人	+10.1%	14.5%	8,300 人	8,300 人	+45.6%	6.2%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	+12.5%	1.1%	500 人	500 人	+66.7%	0.4%
タイ	2,200 人	2,200 人	+22.2%	1.3%	200 人	200 人	+100.0%	0.1%
シンガポール	800 人	800 人	+166.7%	0.5%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
その他	4,400 人	4,400 人	△32.3%	2.7%	46,800 人	8,000 人	+20.3%	34.9%
合計	165,900 人	165,900 人	+5.7%	100.0%	134,100 人	95,300 人	+12.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

8月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったことや、臨時便の増席に伴う旅行商品の販売があったこと等から、前年を上回った。
9月は、連休による旅行需要の高まりや、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが安定していること等から、好調に推移する見込み。

大阪

8月は、台風の影響による欠航があったものの、航空会社の離島路線の提供座席数の増加や、先行割引航空券の販売が良好であったこと等から、前年を上回った。
9月は、関西国際空港の一部閉鎖の影響が懸念されるものの、連休による旅行需要の高まりや航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

福岡

8月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の離島直行便が良好であることや、旅行会社の新商品投入の取組みがあったこと等から、前年を上回った。
9月は、連休による旅行需要の高まりや、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好なこと等から、好調に推移する見込み。

名古屋

8月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったことやパンフレット系旅行会社商品の販売が良好だったこと等から前年を上回った。
9月は、航空会社の提供座席数の増加やパンフレット系旅行会社商品の販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

台湾

8月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月と比べ航空路線が拡充したこと等から空路客を中心に前年を上回った。
9月は、前年同月より航空路線の拡充があることやクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

8月は、イースター航空のソウル-那覇路線の増便等の航空路線の拡充があったものの、国内他方面との競争があったこと等から、前年を下回った。
9月は、秋夕連休による旅行需要の高まりや、前年同月より航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

中国本土

8月は、夏休みシーズンの本格化により旅行需要の高まりがあったことや、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。
9月は、中秋節連休による旅行需要の高まりや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

8月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月に比べクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回った。
9月は、中秋節による旅行需要の高まりや、前年同月より航空路線の拡充があること等から堅調に推移する見込み。

平成30年（2018）9月 入域観光客数概況

9月の観光客数は、80万1,500人
対前年（H29）同月比 -3万5,600人、-4.3%
～9月における過去2番目の入域観光客数～

入域状況

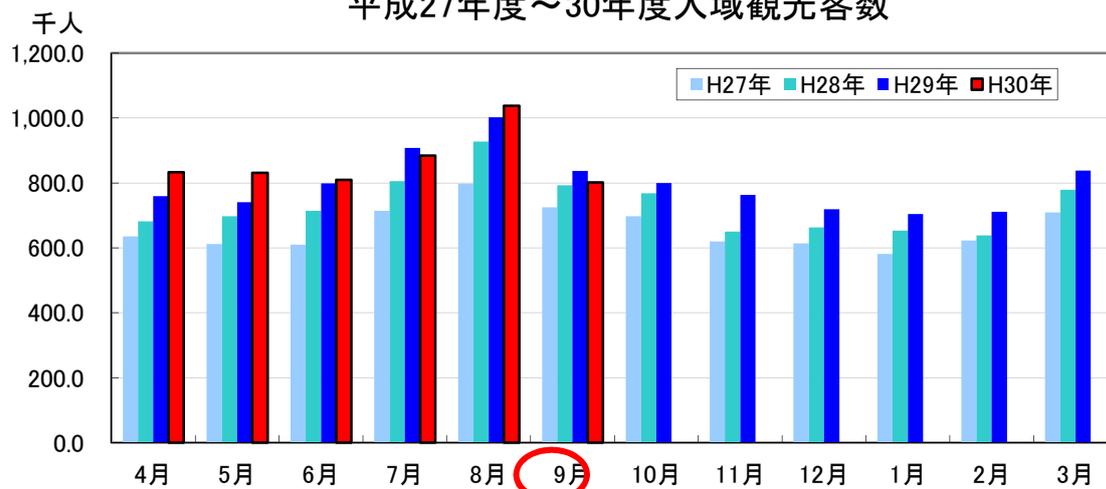
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	571,000 人	603,600 人	△ 32,600人	△ 5.4%	71.2%
外国客	230,500 人	233,500 人	△ 3,000人	△ 1.3%	28.8%
合計	801,500 人	837,100 人	△ 35,600人	△ 4.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	571,000 人	603,600 人	△ 32,600人	△ 5.4%	73.7%
外国客	204,100 人	201,300 人	+ 2,800人	+ 1.4%	26.3%
合計	775,100 人	804,900 人	△ 29,800人	△ 3.7%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

9月は、敬老の日と秋分の日との連休や大型音楽イベントの開催があったものの、関西国際空港の一時閉鎖や台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年を下回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

9月は、秋夕連休や中秋節があったものの、台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年を下回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,100 人	302,900 人	△ 8,800人	△ 2.9%	51.5%
関西方面	101,000 人	123,300 人	△ 22,300人	△ 18.1%	17.7%
福岡方面	75,700 人	75,700 人	0人	0.0%	13.3%
名古屋	48,200 人	49,200 人	△ 1,000人	△ 2.0%	8.4%
その他	52,000 人	52,500 人	△ 500人	△ 1.0%	9.1%
合計	571,000 人	603,600 人	△ 32,600人	△ 5.4%	100.0%

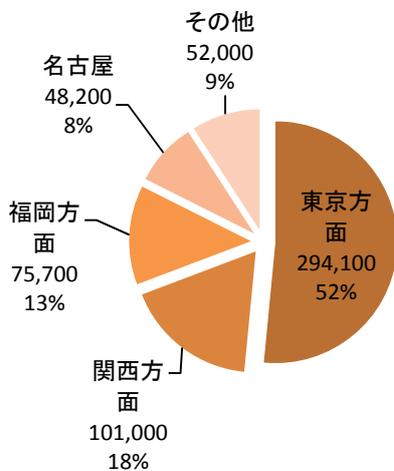
※国内海路客1,700人を含む(鹿児島1,700人)

外国客 国籍別入域状況

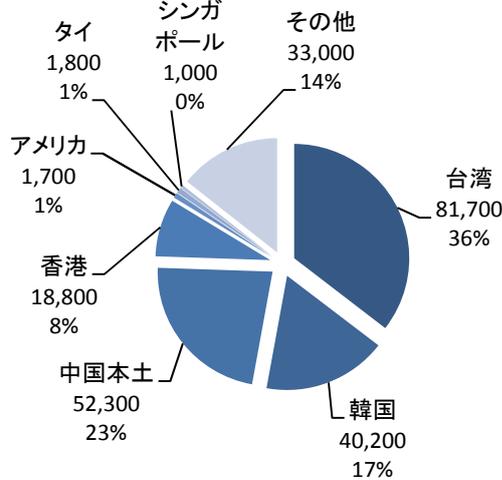
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	81,700 人	81,700 人	67,800 人	+ 13,900人	+20.5%	35.4%
韓国	40,200 人	40,200 人	43,200 人	△ 3,000人	△6.9%	17.4%
中国本土	52,300 人	52,300 人	49,900 人	+ 2,400人	+4.8%	22.7%
香港	18,800 人	18,800 人	25,400 人	△ 6,600人	△26.0%	8.2%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	2,000 人	△ 300人	△15.0%	0.7%
タイ	1,800 人	1,800 人	2,800 人	△ 1,000人	△35.7%	0.8%
シンガポール	1,000 人	1,000 人	1,100 人	△ 100人	△9.1%	0.4%
その他	33,000 人	6,600 人	41,300 人	△ 8,300人	△20.1%	14.3%
合計	230,500 人	204,100 人	233,500 人	△ 3,000人	△1.3%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	60,500 人	60,500 人	+13.3%	40.7%	21,200 人	21,200 人	+47.2%	25.9%
韓国	40,100 人	40,100 人	△7.0%	27.0%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
中国本土	23,500 人	23,500 人	+6.8%	15.8%	28,800 人	28,800 人	+3.2%	35.2%
香港	16,400 人	16,400 人	△13.7%	11.0%	2,400 人	2,400 人	△62.5%	2.9%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+6.7%	1.1%	100 人	100 人	△80.0%	0.1%
タイ	1,700 人	1,700 人	△34.6%	1.1%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
シンガポール	900 人	900 人	+200.0%	0.6%	100 人	100 人	△87.5%	0.1%
その他	4,000 人	4,000 人	△7.0%	2.7%	29,000 人	2,600 人	△21.6%	35.5%
合計	148,700 人	148,700 人	+1.7%	100.0%	81,800 人	55,400 人	△6.3%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

9月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったものの、台風の影響による航空路線の欠航やツアーキャンセルの発生があったこと等から、前年を下回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

大阪

9月は、関西国際空港の一時閉鎖や台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年を下回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、一般団体旅行や修学旅行の受注が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

9月は、台風の影響による航空路線の欠航があったものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったこと等から、前年と同数となった。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが安定していることや離島直行便が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

名古屋

9月は、航空会社の提供座席数の増加やパンフレット系旅行会社商品の販売が良好であったものの、台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から前年を下回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券や団体旅行の販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

台湾

9月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月と比べ航空路線が拡充したことやクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

韓国

9月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年を下回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土

9月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

9月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、台風の影響による航空路線の欠航があったことや前年同月に比べクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

10月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充があること等から堅調に推移する見込み。

平成 30 年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課

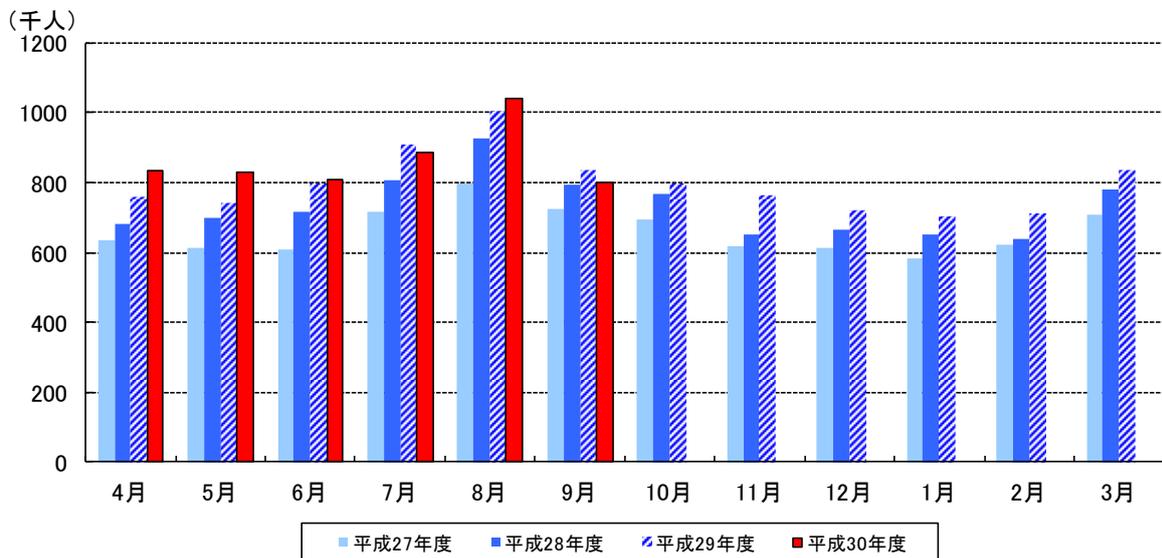
平成 30 年 10 月発表

(令和元年 11 月修正)

**平成 30 年度上半期は、520 万 2,600 人で過去最高を更新
対前年度(H29)比 +15 万 6,500 人、+3.1%**

入域観光客数（国内+外国）

■月別入域観光客数の推移（平成 27 年度～平成 30 年度）



■平成 30 年度上半期入域観光客の状況（平成 29 年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成30年度	833,200	830,900	809,700	885,800	1,041,500	801,500	5,202,600
平成29年度	759,200	740,600	798,800	907,900	1,002,500	837,100	5,046,100
増減数	74,000	90,300	10,900	-22,100	39,000	-35,600	156,500
増減率	9.7%	12.2%	1.4%	-2.4%	3.9%	-4.3%	3.1%

■平成 30 年度上半期の概況（総括）

平成 30 年度上半期の入域観光客数は、520 万 2,600 人となり、対前年同期比で 15 万 6,500 人増加、率にして 3.1% 増となった。月別では、6 月までは 69 か月連続で対前年同月を上回るとともに、56 か月連続で当該月の過去最高を上回る客数を記録した。台風等の影響で 7 月に連続更新はストップしたものの、8 月は前年に引き続き 100 万人台を記録し、単月の過去最高となった。

前年度上半期と比べて増加した主な要因は、次のとおりと考えられる。

- 行政や民間が一体となった誘客プロモーションの効果
- 離島直行便など国内航空路線の拡充
- 海外航空路線の拡充及びクルーズ船の寄港回数の増

国内観光客についての動向

■平成30年度上半期国内観光客の状況（平成29年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成30年度	556,400	514,600	534,600	595,000	741,500	571,000	3,513,100
平成29年度	541,600	523,800	537,300	615,200	726,800	603,600	3,548,300
増減数	14,800	-9,200	-2,700	-20,200	14,700	-32,600	-35,200
増減率	2.7%	-1.8%	-0.5%	-3.3%	2.0%	-5.4%	-1.0%

■国内観光客の概況

成田－石垣路線の新規就航等を含む航空路線の拡充（※）があったものの、台風の影響による航空路線の欠航や関西国際空港の一時閉鎖があったこと等から、前年を下回った。

下半期は、景気のゆるやかな回復基調が続いていることや、引き続き航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

※新規就航のあった路線：成田－石垣、沖永良部－那覇路線

主な増便のあった路線：中部－宮古、福岡－石垣、福岡－宮古

外国人観光客についての動向

■平成30年度上半期外国人観光客の状況（平成29年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成30年度	276,800	316,300	275,100	290,800	300,000	230,500	1,689,500
平成29年度	217,600	216,800	261,500	292,700	275,700	233,500	1,497,800
増減数	59,200	99,500	13,600	-1,900	24,300	-3,000	191,700
増減率	27.2%	45.9%	5.2%	-0.6%	8.8%	-1.3%	12.8%

■外国人観光客の概況

麻しん（はしか）患者の発生や台風の影響が懸念されたものの、沖縄発着航空路線が拡充（※）したことや、クルーズ船寄港回数が増加したこと等から、好調に推移している。国籍・地域別では、台湾と中国の伸びが顕著となっている。

下半期は、引き続き航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

※新規就航のあった路線：高雄－那覇、仁川－那覇路線

主な増便のあった路線：台北－那覇、釜山－那覇、香港－那覇路線

平成30年（2018）10月 入域観光客数概況

10月の観光客数は、84万9,300人
対前年（H29）同月比 +5万人、+6.3%
～10月の過去最高を更新～

入域状況

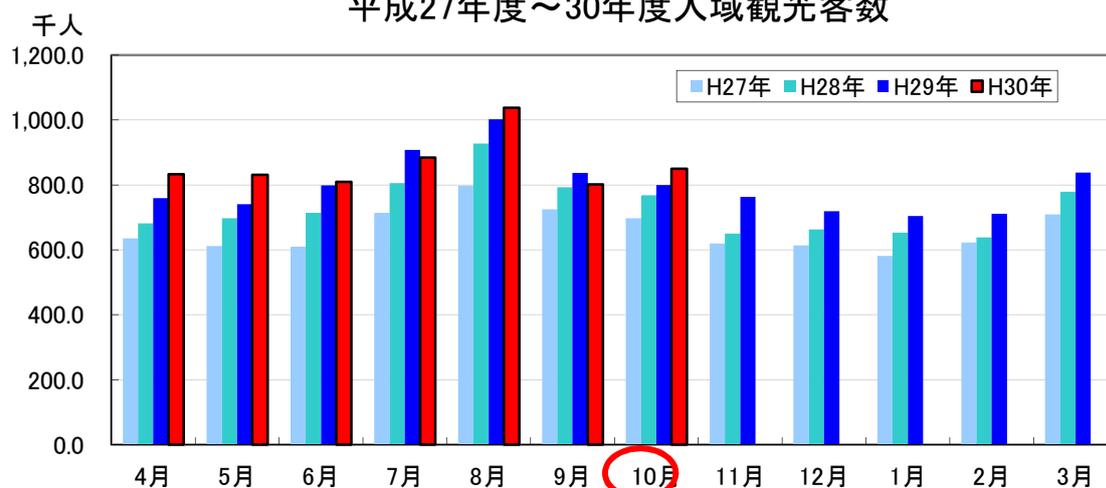
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	602,800 人	570,100 人	+ 32,700人	+ 5.7%	71.0%
外国客	246,500 人	229,200 人	+ 17,300人	+ 7.5%	29.0%
合計	849,300 人	799,300 人	+ 50,000人	+ 6.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	602,800 人	570,100 人	+ 32,700人	+ 5.7%	73.7%
外国客	215,100 人	200,500 人	+ 14,600人	+ 7.3%	26.3%
合計	817,900 人	770,600 人	+ 47,300人	+ 6.1%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったこと等から、前年を上回った。

11月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なことや、おきなわ技能五輪・アビリンピックの開催があること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

10月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月より航空路線の拡充があったことや大型クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

11月は、冬場に入りクルーズ船は落ち着くものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	304,700 人	287,100 人	+ 17,600人	+ 6.1%	50.5%
関西方面	113,800 人	108,300 人	+ 5,500人	+ 5.1%	18.9%
福岡方面	76,200 人	72,200 人	+ 4,000人	+ 5.5%	12.6%
名古屋	50,500 人	46,500 人	+ 4,000人	+ 8.6%	8.4%
その他	57,600 人	56,000 人	+ 1,600人	+ 2.9%	9.6%
合計	602,800 人	570,100 人	+ 32,700人	+ 5.7%	100.0%

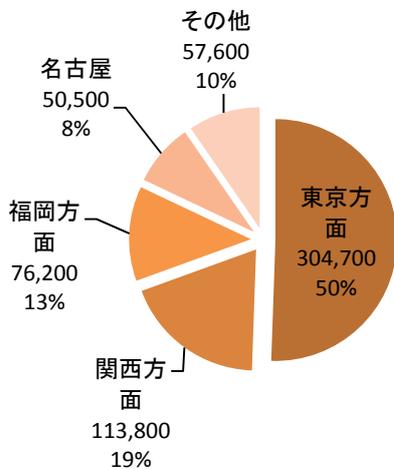
※国内海路客2,800人を含む(鹿児島1,700人、横浜1,100人)

外国客 国籍別入域状況

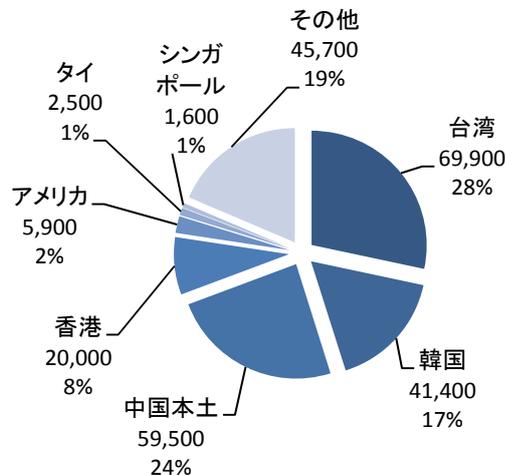
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	69,900 人	69,900 人	77,400 人	△ 7,500人	△9.7%	28.4%
韓国	41,400 人	41,400 人	41,300 人	+ 100人	+0.2%	16.8%
中国本土	59,500 人	59,500 人	45,400 人	+ 14,100人	+31.1%	24.1%
香港	20,000 人	20,000 人	22,200 人	△ 2,200人	△9.9%	8.1%
アメリカ	5,900 人	5,900 人	2,000 人	+ 3,900人	+195.0%	2.4%
タイ	2,500 人	2,500 人	3,500 人	△ 1,000人	△28.6%	1.0%
シンガポール	1,600 人	1,600 人	800 人	+ 800人	+100.0%	0.6%
その他	45,700 人	14,300 人	36,600 人	+ 9,100人	+24.9%	18.5%
合計	246,500 人	215,100 人	229,200 人	+ 17,300人	+7.5%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	59,900 人	59,900 人	+12.6%	39.9%	10,000 人	10,000 人	△58.7%	10.4%
韓国	41,300 人	41,300 人	+0.2%	27.5%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
中国本土	21,300 人	21,300 人	+10.4%	14.2%	38,200 人	38,200 人	+46.4%	39.6%
香港	16,400 人	16,400 人	△3.0%	10.9%	3,600 人	3,600 人	△32.1%	3.7%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+6.3%	1.1%	4,200 人	4,200 人	+950.0%	4.4%
タイ	2,400 人	2,400 人	△27.3%	1.6%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	+133.3%	0.9%	200 人	200 人	+0.0%	0.2%
その他	5,600 人	5,600 人	+12.0%	3.7%	40,100 人	8,700 人	+26.9%	41.6%
合計	150,000 人	150,000 人	+6.3%	100.0%	96,500 人	65,100 人	+9.5%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったこと等から、前年を上回った。

11月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の離島直行便が良好だったことや、一般団体旅行や修学旅行の受注が安定していたこと等から、前年を上回った。

11月は、航空会社の先行割引航空券の販売が良好であることや、引き続き、一般団体旅行や修学旅行の受注が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の提供座席数の増加や、離島直行便が良好だったこと等から、前年を上回った。

11月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが安定していることや、インセンティブ旅行等の団体旅行の需要の高まりがあること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の提供座席数の増加や団体旅行の販売が良好であったこと等から前年を上回った。

11月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であることや団体旅行の販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

台湾

10月は、前年同月と比べ航空路線が拡充したものの、台風による航空路線の欠航やクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

11月は、MICE開催シーズンに入り団体旅行の需要の高まりがみられることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等により、堅調に推移する見込み。

韓国

10月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

11月は、温暖な気候をテーマとした旅行需要の高まりがみられることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

10月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

11月は、インセンティブ旅行の需要の高まりがみられることや、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

10月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、台風の影響による航空路線の欠航や前年同月に比べクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

11月は、香港発のクルーズ船の寄港が予定されていないものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に堅調に推移する見込み。

平成30年（2018）11月 入域観光客数概況

11月の観光客数は、79万5,200人
対前年（H29）同月比 +3万2,300人、+4.2%
～11月の過去最高を更新～

入域状況

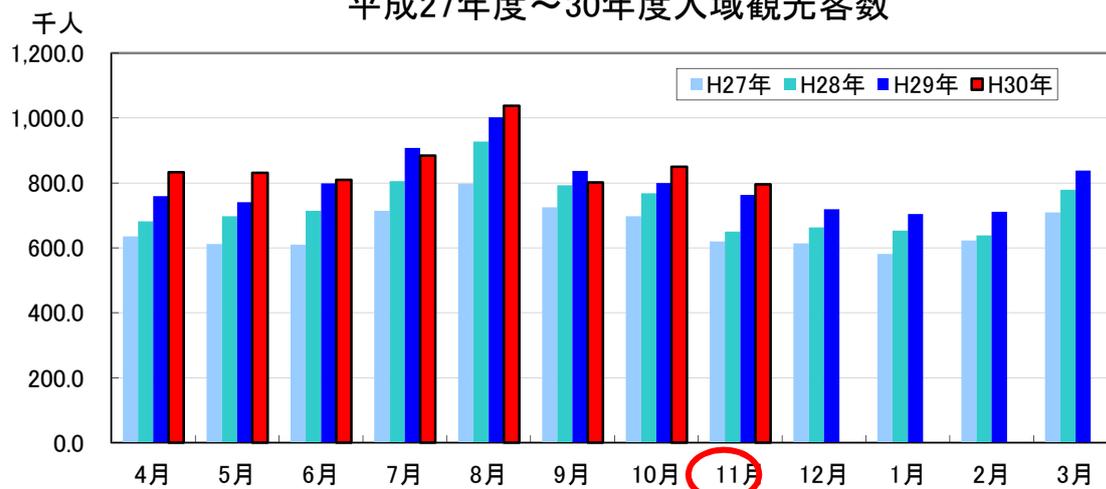
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	604,100 人	580,500 人	+ 23,600人	+ 4.1%	76.0%
外国客	191,100 人	182,400 人	+ 8,700人	+ 4.8%	24.0%
合計	795,200 人	762,900 人	+ 32,300人	+ 4.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	604,100 人	580,500 人	+ 23,600人	+ 4.1%	78.4%
外国客	166,300 人	156,600 人	+ 9,700人	+ 6.2%	21.6%
合計	770,400 人	737,100 人	+ 33,300人	+ 4.5%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

11月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、おきなわ技能五輪・アビリンピックの開催があったこと等から、前年を上回った。

12月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なことや、年末年始の旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

11月は、冬場に入りクルーズ船は落ち着ついたものの、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

12月は、クルーズ船の寄港が減少する予定であるものの、年末年始の旅行需要の高まりが期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	297,500 人	284,700 人	+ 12,800人	+ 4.5%	49.2%
関西方面	112,900 人	110,900 人	+ 2,000人	+ 1.8%	18.7%
福岡方面	77,300 人	75,800 人	+ 1,500人	+ 2.0%	12.8%
名古屋	50,100 人	46,500 人	+ 3,600人	+ 7.7%	8.3%
その他	66,300 人	62,600 人	+ 3,700人	+ 5.9%	11.0%
合計	604,100 人	580,500 人	+ 23,600人	+ 4.1%	100.0%

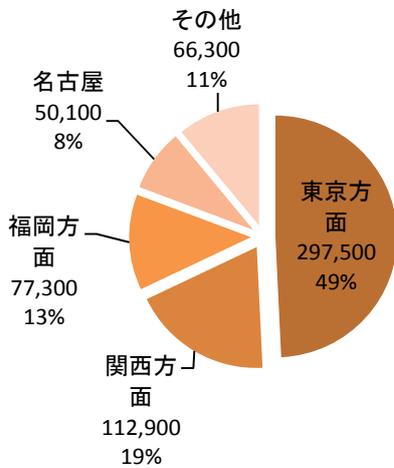
※国内海路客8,800人を含む(東京1,300人、鹿児島1,900人、横浜5,600人)

外国客 国籍別入域状況

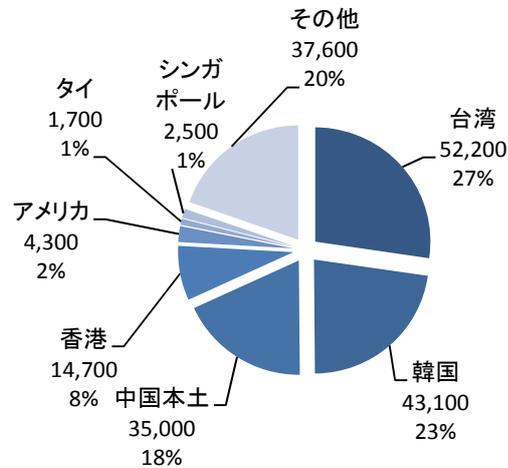
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	52,200 人	52,200 人	57,300 人	△ 5,100人	△8.9%	27.3%
韓国	43,100 人	43,100 人	42,100 人	+ 1,000人	+2.4%	22.6%
中国本土	35,000 人	35,000 人	26,400 人	+ 8,600人	+32.6%	18.3%
香港	14,700 人	14,700 人	14,300 人	+ 400人	+2.8%	7.7%
アメリカ	4,300 人	4,300 人	3,100 人	+ 1,200人	+38.7%	2.3%
タイ	1,700 人	1,700 人	2,400 人	△ 700人	△29.2%	0.9%
シンガポール	2,500 人	2,500 人	1,500 人	+ 1,000人	+66.7%	1.3%
その他	37,600 人	12,800 人	35,300 人	+ 2,300人	+6.5%	19.7%
合計	191,100 人	166,300 人	182,400 人	+ 8,700人	+4.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	42,300 人	42,300 人	+8.2%	33.8%	9,900 人	9,900 人	△45.6%	15.0%
韓国	43,000 人	43,000 人	+2.9%	34.3%	100 人	100 人	△66.7%	0.2%
中国本土	15,400 人	15,400 人	+14.1%	12.3%	19,600 人	19,600 人	+51.9%	29.7%
香港	13,300 人	13,300 人	+8.1%	10.6%	1,400 人	1,400 人	△30.0%	2.1%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	+16.7%	1.7%	2,200 人	2,200 人	+69.2%	3.3%
タイ	1,700 人	1,700 人	△22.7%	1.4%	0 人	0 人	皆減	0.0%
シンガポール	2,400 人	2,400 人	+60.0%	1.9%	100 人	100 人	皆増	0.2%
その他	5,000 人	5,000 人	+11.1%	4.0%	32,600 人	7,800 人	+5.8%	49.5%
合計	125,200 人	125,200 人	+7.3%	100.0%	65,900 人	41,100 人	+0.3%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

11月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、おきなわ技能五輪・アビリンピックの開催があったこと等から、前年を上回った。
12月は、航空会社の提供座席数の増加や、年末年始の旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

大阪

11月は、航空会社の離島直行便が良好だったことや、一般団体旅行や修学旅行の受注が安定していたこと等から、前年を上回った。
12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、年末年始の旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

11月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが安定していたことや、インセンティブ旅行等の団体旅行の需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。
12月は、航空会社の提供座席数の増加や、一般団体旅行や年末年始の旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

11月は、航空会社の提供座席数の増加があったことや、団体旅行の販売が良好であったこと等から前年を上回った。
12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であることや、年末年始の旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

台湾

11月は、前年同月と比べ航空路線が拡充したものの、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。
12月は、クルーズ船の寄港が減少する予定であるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等により、堅調に推移する見込み。

韓国

11月は、温暖な気候をテーマとした旅行需要の高まりがあったことや、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
12月は、年末年始の旅行需要の高まりが期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

11月は、インセンティブ旅行の需要の高まりがあったことや、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。
12月は、クルーズ船の寄港が減少する予定であるものの、航空路線は前年並みに予定されていることや、年末年始の旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

香港

11月は、香港発のクルーズ船の寄港がなかったものの、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から前年を上回った。
12月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、クリスマス休暇や年末年始の旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

平成30年（2018）12月 入域観光客数概況

12月の観光客数は、74万7,500人
対前年（H29）同月比 +2万9,000人、+4.0%
～12月の過去最高を更新～

入域状況

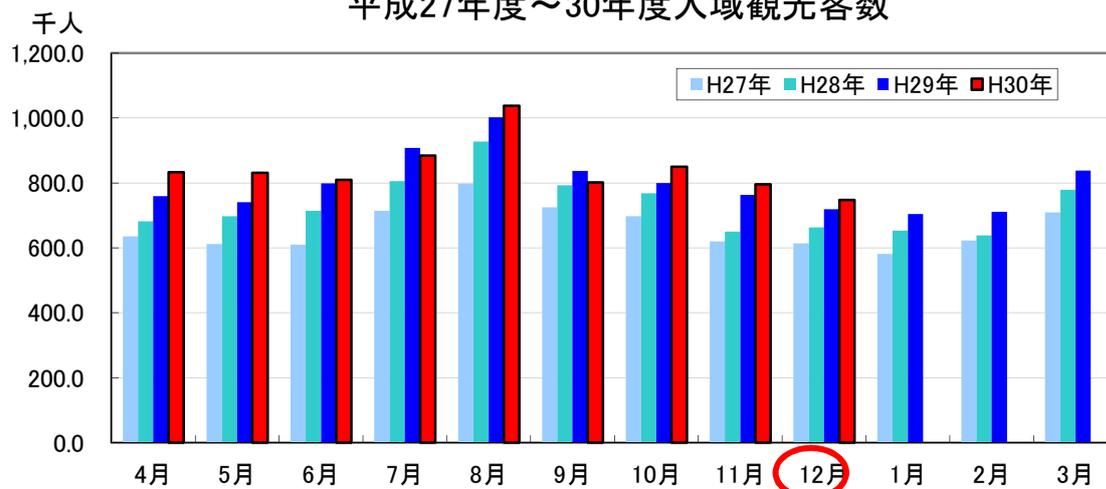
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,300 人	535,400 人	+ 34,900人	+ 6.5%	76.3%
外国客	177,200 人	183,100 人	△ 5,900人	△ 3.2%	23.7%
合計	747,500 人	718,500 人	+ 29,000人	+ 4.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,300 人	535,400 人	+ 34,900人	+ 6.5%	77.5%
外国客	165,300 人	162,700 人	+ 2,600人	+ 1.6%	22.5%
合計	735,600 人	698,100 人	+ 37,500人	+ 5.4%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なことや、各旅行会社による旅行商品販売の取組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

12月は、年末年始の旅行需要の高まりや、前年同月より航空路線の拡充があったものの、クルーズ船の寄港が減少したこと等から、前年を下回った。

1月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	281,700 人	261,700 人	+ 20,000人	+ 7.6%	49.4%
関西方面	112,700 人	105,700 人	+ 7,000人	+ 6.6%	19.8%
福岡方面	73,100 人	70,200 人	+ 2,900人	+ 4.1%	12.8%
名古屋	45,900 人	43,200 人	+ 2,700人	+ 6.3%	8.0%
その他	56,900 人	54,600 人	+ 2,300人	+ 4.2%	10.0%
合計	570,300 人	535,400 人	+ 34,900人	+ 6.5%	100.0%

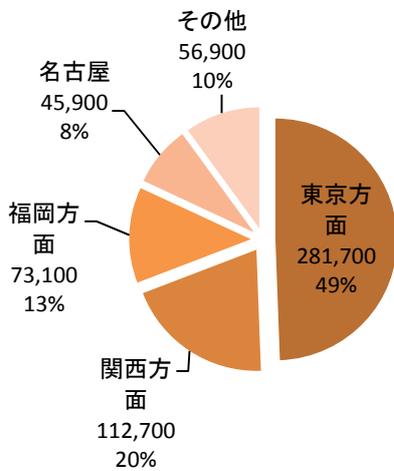
※国内海路客3,200人を含む(鹿児島1,600人、横浜1,600人)

外国客 国籍別入域状況

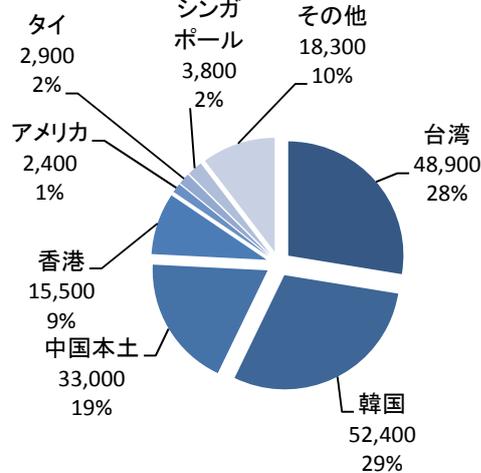
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	48,900 人	48,900 人	42,500 人	+ 6,400人	+15.1%	27.6%
韓国	52,400 人	52,400 人	49,800 人	+ 2,600人	+5.2%	29.6%
中国本土	33,000 人	33,000 人	36,600 人	△ 3,600人	△9.8%	18.6%
香港	15,500 人	15,500 人	18,700 人	△ 3,200人	△17.1%	8.7%
アメリカ	2,400 人	2,400 人	2,100 人	+ 300人	+14.3%	1.4%
タイ	2,900 人	2,900 人	3,000 人	△ 100人	△3.3%	1.6%
シンガポール	3,800 人	3,800 人	4,000 人	△ 200人	△5.0%	2.1%
その他	18,300 人	6,400 人	26,400 人	△ 8,100人	△30.7%	10.3%
合計	177,200 人	165,300 人	183,100 人	△ 5,900人	△3.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	43,700 人	43,700 人	+27.0%	30.9%	5,200 人	5,200 人	△35.8%	14.4%
韓国	52,400 人	52,400 人	+5.2%	37.1%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	16,500 人	16,500 人	+5.1%	11.7%	16,500 人	16,500 人	△21.1%	45.8%
香港	14,800 人	14,800 人	+5.7%	10.5%	700 人	700 人	△85.1%	1.9%
アメリカ	1,900 人	1,900 人	△5.0%	1.3%	500 人	500 人	+400.0%	1.4%
タイ	2,900 人	2,900 人	△3.3%	2.1%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	3,800 人	3,800 人	△5.0%	2.7%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	5,200 人	5,200 人	+0.0%	3.7%	13,100 人	1,200 人	△38.2%	36.4%
合計	141,200 人	141,200 人	+10.2%	100.0%	36,000 人	24,100 人	△34.5%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

12月は、航空会社の提供座席数の増加や、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していること等から、好調に推移する見込み。

大阪

12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、一般団体旅行の受注が良好であること等から、好調に推移する見込み。

福岡

12月は、航空会社の提供座席数の増加や、一般団体旅行や年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、個人旅行商品やグループ旅行の先行販売が良好であること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったことや、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であることや、旅行商品の沖縄キャンペーンの取組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

台湾

12月は、クルーズ船の寄港が減少したものの、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、前年同月と比べ航空路線が拡充したこと等から前年を上回った。

1月は、クルーズ船の寄港が減少する予定であるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等により、堅調に推移する見込み。

韓国

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

1月は、ピーク時を避けたインセンティブ旅行の需要の高まりが期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったものの、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

1月は、航空路線は前年並みに予定されていることや、クルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

12月は、クリスマス休暇や年末年始の旅行需要の高まりがあったものの、前年同月よりクルーズ船の寄港が減少したこと等から前年を下回った。

1月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、クルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、堅調に推移する見込み。

平成31年（2019）1月 入域観光客数概況

1月の観光客数は、75万3,500人
対前年（H30）同月比 +4万9,200人、+7.0%
～1月の過去最高を更新～

入域状況

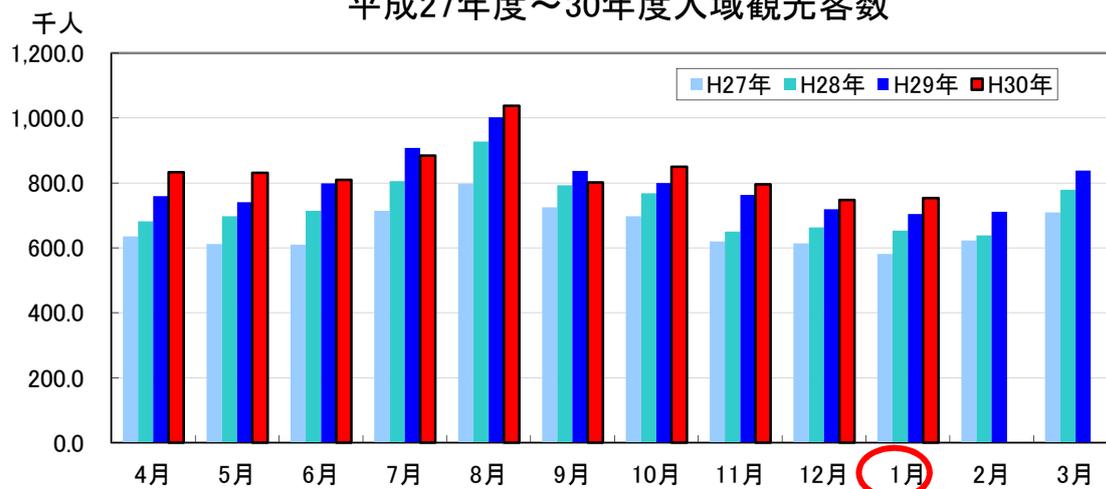
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	523,700 人	509,900 人	+ 13,800人	+ 2.7%	69.5%
外国客	229,800 人	194,400 人	+ 35,400人	+ 18.2%	30.5%
合計	753,500 人	704,300 人	+ 49,200人	+ 7.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	523,700 人	509,900 人	+ 13,800人	+ 2.7%	72.1%
外国客	202,500 人	171,100 人	+ 31,400人	+ 18.4%	27.9%
合計	726,200 人	681,000 人	+ 45,200人	+ 6.6%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

1月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、各旅行会社による旅行商品販売の取組み強化あったこと等から、前年を上回った。

2月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なことや、スポーツキャンプ見学等の各種イベントによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

1月は、前年同月より航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、春節休暇による旅行需要の高まりが期待されることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	253,800 人	254,300 人	△ 500人	△ 0.2%	48.5%
関西方面	101,800 人	97,400 人	+ 4,400人	+ 4.5%	19.4%
福岡方面	69,700 人	65,400 人	+ 4,300人	+ 6.6%	13.3%
名古屋	44,900 人	41,600 人	+ 3,300人	+ 7.9%	8.6%
その他	53,500 人	51,200 人	+ 2,300人	+ 4.5%	10.2%
合計	523,700 人	509,900 人	+ 13,800人	+ 2.7%	100.0%

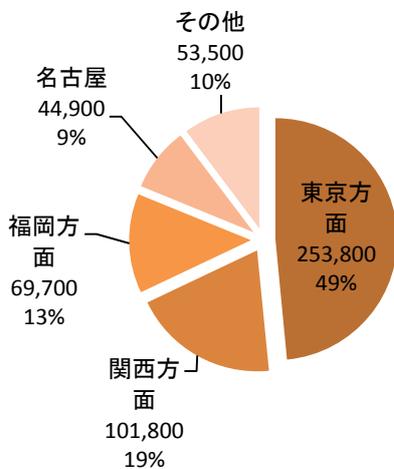
※国内海路客2,100人を含む(鹿児島1,900人、横浜200人)

外国客 国籍別入域状況

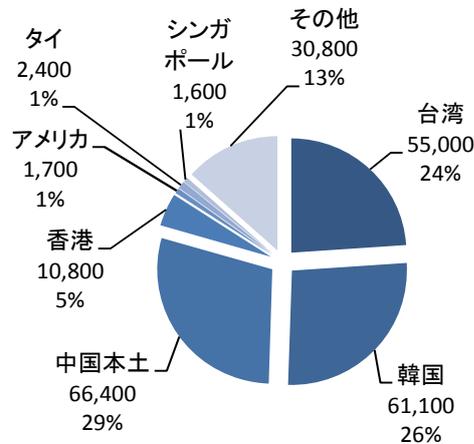
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	55,000 人	55,000 人	49,900 人	+ 5,100人	+10.2%	23.9%
韓国	61,100 人	61,100 人	57,600 人	+ 3,500人	+6.1%	26.6%
中国本土	66,400 人	66,400 人	39,000 人	+ 27,400人	+70.3%	28.9%
香港	10,800 人	10,800 人	13,700 人	△ 2,900人	△21.2%	4.7%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	1,600 人	+ 100人	+6.3%	0.7%
タイ	2,400 人	2,400 人	2,400 人	0人	+0.0%	1.0%
シンガポール	1,600 人	1,600 人	1,400 人	+ 200人	+14.3%	0.7%
その他	30,800 人	3,500 人	28,800 人	+ 2,000人	+6.9%	13.4%
合計	229,800 人	202,500 人	194,400 人	+ 35,400人	+18.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	50,000 人	50,000 人	+42.5%	33.3%	5,000 人	5,000 人	△66.2%	6.3%
韓国	61,000 人	61,000 人	+6.3%	40.6%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
中国本土	20,100 人	20,100 人	+16.2%	13.4%	46,300 人	46,300 人	+113.4%	58.2%
香港	10,400 人	10,400 人	△14.8%	6.9%	400 人	400 人	△73.3%	0.5%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+6.7%	1.1%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
タイ	2,400 人	2,400 人	+9.1%	1.6%	0 人	0 人	皆減	0.0%
シンガポール	1,600 人	1,600 人	+14.3%	1.1%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	3,200 人	3,200 人	+10.3%	2.1%	27,600 人	300 人	+6.6%	34.7%
合計	150,300 人	150,300 人	+15.6%	100.0%	79,500 人	52,200 人	+23.4%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

1月は、先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたものの、東京発クルーズ船の寄港がなかったこと等から、前年を下回った。

2月は、引き続き先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、スポーツキャンプ見学や桜まつり等の各種イベントが多く旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

1月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたことや、一般団体旅行の受注が良好だったこと等から、前年を上回った。

2月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、一般団体旅行の受注が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

1月は、航空会社の提供座席数の増加や、個人旅行商品やグループ旅行の先行販売が良好だったこと等から、前年を上回った。

2月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、グループ旅行の先行販売が良好であること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

1月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったことや、旅行商品の沖縄キャンペーンの取組み強化があったこと等から前年を上回った。

2月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であることや、離島直行便や団体旅行の販売が良好であること等から、好調に推移する見込み。

台湾

1月は、クルーズ船の寄港が減少したものの、前年同月と比べ航空路線が拡充したこと等から前年を上回った。

2月は、春節による旅行需要の高まりが期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

韓国

1月は、冬休み期間における旅行需要の高まりがあったことや、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

2月は、韓国プロ野球キャンプ見学の需要が期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

1月は、個人査証の発給要件緩和に加え、冬休み期間における旅行需要の高まりがあったことや、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、春節による旅行需要の高まりが期待されることや、クルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

1月は、昨年、広深港高速鉄道と港珠澳大橋が開通したことに伴い、中国へのより安価な旅行が選択可能になったこと等から前年を下回った。

2月は、春節による旅行需要の高まりが期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

平成31年（2019）2月 入域観光客数概況

2月の観光客数は、77万2,200人
対前年（H30）同月比 +6万800人、+8.5%
～2月の過去最高を更新～

入域状況

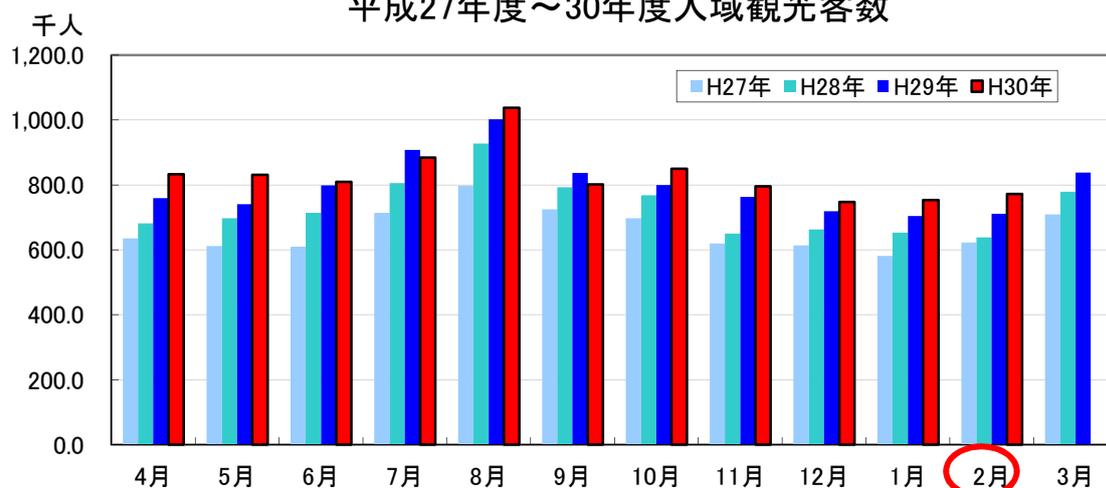
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	532,100 人	516,600 人	+ 15,500人	+ 3.0%	68.9%
外国客	240,100 人	194,800 人	+ 45,300人	+ 23.3%	31.1%
合計	772,200 人	711,400 人	+ 60,800人	+ 8.5%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	532,100 人	516,600 人	+ 15,500人	+ 3.0%	71.9%
外国客	208,000 人	177,300 人	+ 30,700人	+ 17.3%	28.1%
合計	740,100 人	693,900 人	+ 46,200人	+ 6.7%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

2月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたことや、スポーツキャンプ見学や各種イベントが多かったこと等から、前年を上回った。

3月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、春休みによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

2月は、春節休暇による旅行需要の高まりや、前年同月よりクルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

3月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、大型クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	253,800 人	250,400 人	+ 3,400人	+ 1.4%	47.7%
関西方面	101,300 人	101,700 人	△ 400人	△ 0.4%	19.0%
福岡方面	71,100 人	67,700 人	+ 3,400人	+ 5.0%	13.4%
名古屋	48,700 人	44,400 人	+ 4,300人	+ 9.7%	9.2%
その他	57,200 人	52,400 人	+ 4,800人	+ 9.2%	10.7%
合計	532,100 人	516,600 人	+ 15,500人	+ 3.0%	100.0%

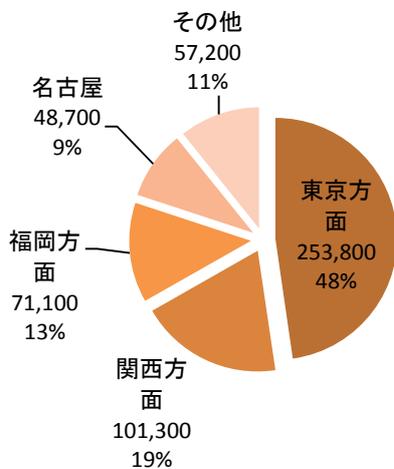
※国内海路客5,300人を含む(鹿児島1,600人、横浜3,700人)

外国客 国籍別入域状況

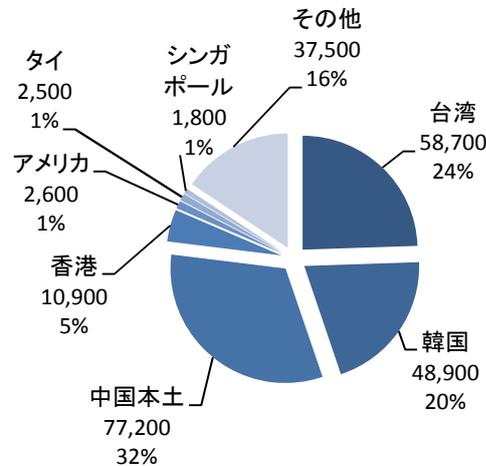
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	58,700 人	58,700 人	53,200 人	+ 5,500人	+10.3%	24.4%
韓国	48,900 人	48,900 人	49,300 人	△ 400人	△0.8%	20.4%
中国本土	77,200 人	77,200 人	51,500 人	+ 25,700人	+49.9%	32.2%
香港	10,900 人	10,900 人	13,600 人	△ 2,700人	△19.9%	4.5%
アメリカ	2,600 人	2,600 人	1,400 人	+ 1,200人	+85.7%	1.1%
タイ	2,500 人	2,500 人	2,100 人	+ 400人	+19.0%	1.0%
シンガポール	1,800 人	1,800 人	1,200 人	+ 600人	+50.0%	0.7%
その他	37,500 人	5,400 人	22,500 人	+ 15,000人	+66.7%	15.6%
合計	240,100 人	208,000 人	194,800 人	+ 45,300人	+23.3%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	50,600 人	50,600 人	+17.4%	36.5%	8,100 人	8,100 人	△19.8%	8.0%
韓国	48,900 人	48,900 人	△0.8%	35.2%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	20,100 人	20,100 人	△14.5%	14.5%	57,100 人	57,100 人	+103.9%	56.4%
香港	10,400 人	10,400 人	△18.8%	7.5%	500 人	500 人	△37.5%	0.5%
アメリカ	1,400 人	1,400 人	+16.7%	1.0%	1,200 人	1,200 人	+500.0%	1.2%
タイ	2,400 人	2,400 人	+14.3%	1.7%	100 人	100 人	皆増	0.1%
シンガポール	1,800 人	1,800 人	+50.0%	1.3%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	3,200 人	3,200 人	△5.9%	2.3%	34,300 人	2,200 人	+79.6%	33.9%
合計	138,800 人	138,800 人	+1.6%	100.0%	101,300 人	69,200 人	+74.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

2月は、スポーツキャンプ見学や各種イベントが多かったことや、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたこと等から、前年を上回った。
3月は、引き続き先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、春休みによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

大阪

2月は、航空会社の先行割引航空券の販売が安定していたことや、一般団体旅行の受注が良好だったものの、航空会社の提供座席数が減少したこと等から、前年を下回った。
3月は、引き続き航空会社の先行割引航空券の販売が安定していることや、春休みによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

福岡

2月は、航空会社の提供座席数の増加や、一般団体旅行の販売が良好だったこと等から、前年を上回った。
3月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、春休みによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

2月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったことや、離島直行便や団体旅行の販売が良好だったこと等から前年を上回った。
3月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であることや、春休みによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

台湾

2月は、春節による旅行需要の高まりがあったことや、前年同月と比べ航空路線が拡充したこと等から前年を上回った。
3月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

韓国

2月は、韓国プロ野球キャンプ見学の需要が期待されたものの、前年同月よりチャーター便の運航が減少したこと等から、前年を下回った。
3月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に堅調に推移する見込み。

中国本土

2月は、春節による旅行需要の高まりがあったことや、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。
3月は、航空路線が前年同月並みに推移するものの、クルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

2月は、春節による旅行需要が期待されたものの、広深港高速鉄道と港珠澳大橋が開通したことに伴い、中国へのより安価な旅行が選択可能になったこと等から前年を下回った。
3月は、前年同月より航空路線の縮小が予定されるものの、香港発のクルーズ船の寄港が増加する予定があること等から、堅調に推移する見込み。

平成31年（2019）3月 入域観光客数概況

3月の観光客数は、88万4,000人
対前年（H30）同月比 +4万6,600人、+5.6%
～3月の過去最高を更新～

入域状況

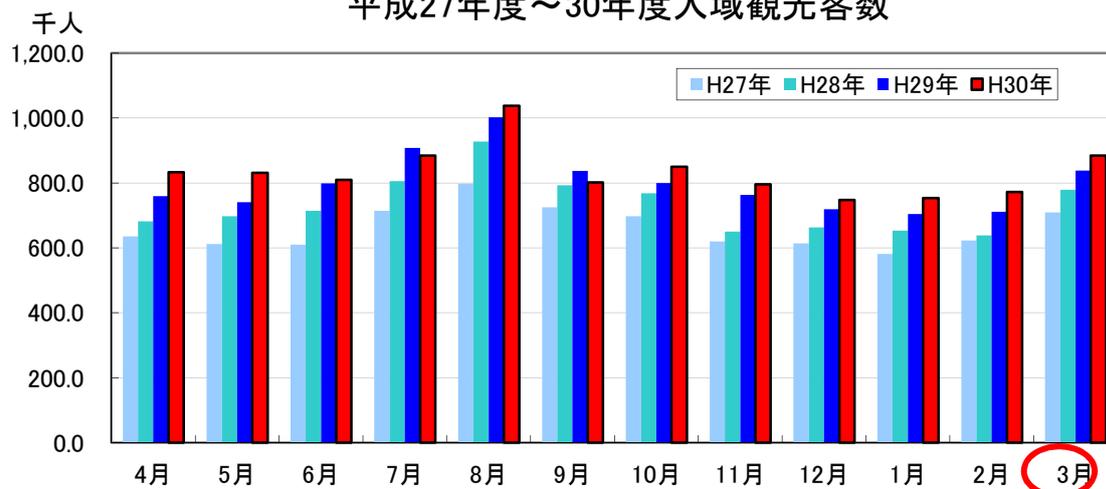
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	657,400 人	627,100 人	+ 30,300人	+ 4.8%	74.4%
外国客	226,600 人	210,300 人	+ 16,300人	+ 7.8%	25.6%
合計	884,000 人	837,400 人	+ 46,600人	+ 5.6%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	657,400 人	627,100 人	+ 30,300人	+ 4.8%	77.0%
外国客	196,300 人	188,000 人	+ 8,300人	+ 4.4%	23.0%
合計	853,700 人	815,100 人	+ 38,600人	+ 4.7%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要の高まりがあったことや、各航空会社の提供座席数の増加があったこと等から、前年を上回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されることや、沖縄国際映画祭等の大型イベントの開催があること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

3月は、前年同月より航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	311,800 人	298,100 人	+ 13,700人	+ 4.6%	47.4%
関西方面	130,800 人	131,500 人	△ 700人	△ 0.5%	19.9%
福岡方面	84,300 人	79,600 人	+ 4,700人	+ 5.9%	12.8%
名古屋	59,500 人	51,700 人	+ 7,800人	+ 15.1%	9.1%
その他	71,000 人	66,200 人	+ 4,800人	+ 7.3%	10.8%
合計	657,400 人	627,100 人	+ 30,300人	+ 4.8%	100.0%

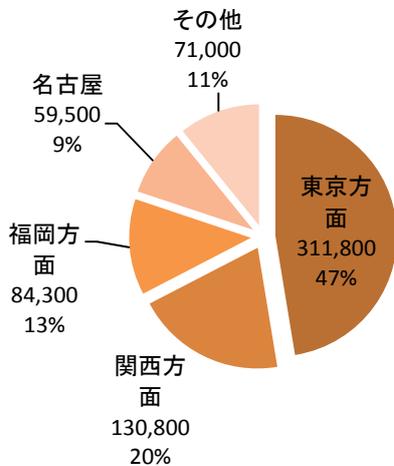
※国内海路客7,800人を含む(鹿児島2,300人、横浜4,600人、博多900人)

外国客 国籍別入域状況

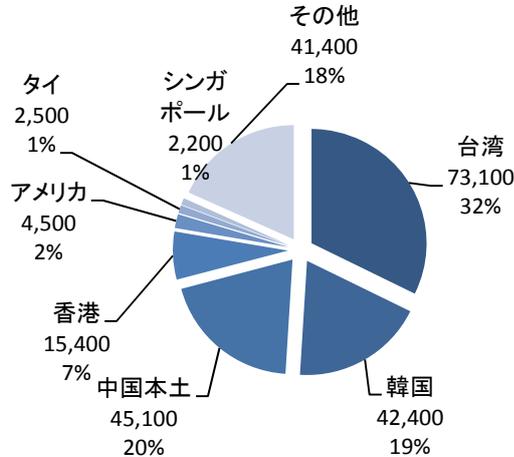
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	73,100 人	73,100 人	55,700 人	+ 17,400人	+31.2%	32.3%
韓国	42,400 人	42,400 人	47,200 人	△ 4,800人	△10.2%	18.7%
中国本土	45,100 人	45,100 人	35,800 人	+ 9,300人	+26.0%	19.9%
香港	15,400 人	15,400 人	18,500 人	△ 3,100人	△16.8%	6.8%
アメリカ	4,500 人	4,500 人	3,700 人	+ 800人	+21.6%	2.0%
タイ	2,500 人	2,500 人	2,600 人	△ 100人	△3.8%	1.1%
シンガポール	2,200 人	2,200 人	1,500 人	+ 700人	+46.7%	1.0%
その他	41,400 人	11,100 人	45,300 人	△ 3,900人	△8.6%	18.3%
合計	226,600 人	196,300 人	210,300 人	+ 16,300人	+7.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	58,300 人	58,300 人	+22.7%	41.0%	14,800 人	14,800 人	+80.5%	17.5%
韓国	42,400 人	42,400 人	△10.2%	29.8%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	17,400 人	17,400 人	+3.0%	12.2%	27,700 人	27,700 人	+46.6%	32.8%
香港	13,100 人	13,100 人	△28.8%	9.2%	2,300 人	2,300 人	+2200.0%	2.7%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	+5.0%	1.5%	2,400 人	2,400 人	+41.2%	2.8%
タイ	2,400 人	2,400 人	△7.7%	1.7%	100 人	100 人	皆増	0.1%
シンガポール	2,000 人	2,000 人	+33.3%	1.4%	200 人	200 人	皆増	0.2%
その他	4,400 人	4,400 人	△8.3%	3.1%	37,000 人	6,700 人	△8.6%	43.8%
合計	142,100 人	142,100 人	+0.9%	100.0%	84,500 人	54,200 人	+21.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、春休みによる旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数の増加があったこと等から、前年を上回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

3月は、春休みによる旅行需要の高まりがあったものの、航空会社の提供座席数が減少したこと等から、前年を下回った。

4月は、一般団体旅行の受注が良好であることや、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

福岡

3月は、春休みによる旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数の増加があったこと等から、前年を上回った。

4月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

3月は、春休みによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加があったことや、先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったこと等から前年を上回った。

4月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加が予定されていることや、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

台湾

3月は、和平記念日の連休による旅行需要があったことや、前年同月と比べ航空路線が拡充したこと等から前年を上回った。

4月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

韓国

3月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、韓国経済が低迷していることや、韓中関係の改善による中国への渡航需要が回復していること等から、前年を下回った。

4月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に堅調に推移する見込み。

中国本土

3月は、個人査証の発給要件緩和による個人旅行の需要の高まりや、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、清明節連休による旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

香港

3月は、香港発のクルーズ船の寄港回数が増加したものの、広深港高速鉄道と港珠澳大橋が開通したことに伴い、中国へのより安価な旅行が選択可能になったこと等から前年を下回った。

4月は、イースター連休による旅行需要の高まりが期待されることや、香港発のクルーズ船の寄港が増加する予定があること等から、堅調に推移する見込み。